

事業概要：晴れの国おかやまで農業をやってみませんかプロジェクト

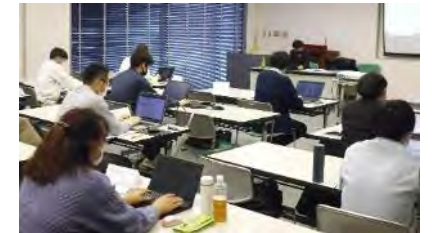
旧制度（推進）

申請者	岡山県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	231,936千円 (45,230千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・県立青少年農林文化センター三徳園を拠点とした新規就農者の育成 ・果樹農業の振興 ・有機農産物等の環境にやさしい農業で作られた農産物の生産振興、販売促進		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 栽培技術等向上研修や若手農業経営者等と高校等の交流活動の実施、オンライン研修の充実を図るとともに、継続的かつ安定的に研修ができる運営体制の確認・構築を行う。さらに、研修ほ場の管理に必要な機械・施設の整備を行う。また、環境にやさしい農業の普及を図るため、第三者機関による認証業務の実施体制を整備し、生産者と実需者のマッチングによる販路拡大等を推進する。さらに、栽培の規模拡大に取り組む生産集団等に対して、農業機械などの生産条件の整備等を支援する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○三徳園研修体系確立事業 ・三徳園運営、交流会、オンライン研修会等開催等（委託料）27,765千円 ・研修ほ場の管理に必要な機械施設整備(備品購入費) 2,987千円 ○環境にやさしい農業で作られた農産物の供給力強化 ・第三者機関認証、各種PR、研修会開催等(委託料等) 12,388千円 ・販路拡大の支援(補助金) 54千円 ・生産条件整備等の支援(補助金) 2,036千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①新規就農者数(年間) (+18人) ②事業を通じたオンライン研修の受講者数 (+35人) ③果樹の農業産出額(+26億円) ④各市町村における環境にやさしい農業の推進体制の構築 (+11市町村)		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL (交付金の具体的使途・実施体制) https://ninaiteokayama.or.jp/santokue n/ (効果検証) https://www.pref.okayama.jp/page/ 599469.html

事業概要：地域を支える中小企業の維持・継続事業

旧制度（推進）

申請者	岡山県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	226,342千円 (37,108千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・デジタル技術の導入やそれを活用できる人材の育成等、中小企業が抱える課題の解決に特化した支援を実施することで、中小企業の基盤強化を図る。 ・BCPの作成など災害に対する備えや、若年者の県内雇用についても多角的に取り組むことで、中小企業の体力を底上げし、地域経済の持続的な発展につなげていく。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 サプライチェーン確保や事業展開を事前検討するBCPの策定支援のため、県BCP認定制度の更なる普及を図るほか、簡易版BCPの普及、ワークショップやセミナーの開催、専門家派遣等を行う。 また、事業承継の不安を解消し、企業価値を向上させるため、成功事例等を活用したフォーラム等を開催するとともに、支援機関と専門家が連携して伴走支援を実施する。 加えて、企業にとっての成長力の源泉であり財産である産業人財の育成と確保を積極的に進めるため、企業ニーズに応じた研修を行うとともに、県内中小企業から募った「就活サポーター」による、就活学生の相談や自身の就活体験等の情報発信を行い、企業の競争力強化や若者や女性等の定着を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○中小企業BCP（事業継続計画）推進事業 ・普及セミナー・訓練セミナー等（委託料）4,305千円 ○事業承継による成長・拡大支援事業 ・フォーラム・研修等（委託料）10,014千円 ○産業人財の育成・確保 ・研修の実施（委託料）19,200千円 ・県内企業の若手社員による「おかやま就活サポーター」を活用した県内就職の魅力や業界情報などの発信（委託料）3,589千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①BCP策定率（製造業）（+15%） ②後継者不在率（▲3.5%） ③人材育成研修受講者数（+355人） ④本県出身の県外大学新卒者のUターン就職率（+2%）		
		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.optic.or.jp/ (効果検証) https://www.pref.okayama.jp/page/599469.html



事業概要：きらり輝く！おかやま多様な人材活躍支援プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	岡山県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	211,761千円 (35,635千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・県内中小企業におけるタイプ3 インターンシップ対応への支援 ・県内企業の認知度向上と学生の業界研究を通じた就職支援 ・留学生に対する県内企業の認知度向上と外国人材の適切な受入れと活躍の支援		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県内企業等がタイプ3 インターンシップ等を通じ、企業の魅力を学生にダイレクトに伝えることができるよう支援することに加え、オンラインを活用した企業見学ツアー開催により企業の認知度向上を図り、県内就職率の向上と定着を目指す。また、外国人材が県内企業等で活躍できるよう、企業や留学生を対象にニーズに即したセミナー等を開催する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○タイプ3 インターンシップ創出に向けたマッチング支援 (委託料等) 21,300千円 インターンシップ等マッチング支援イベント等の開催 ○オンライン型企业見学ツアーの開催 (委託料) 6,662千円 ○外国人材県内活躍総合支援 (委託料) 7,673千円 企業や留学生に向けたセミナーや企業研究イベントの開催		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①関東圏の大学からの県内出身者Uターン就職率 (+2.4%) ②近畿圏の大学からの県内出身者Uターン就職率 (+2.4%) ③県が関与したタイプ3 インターンシップ導入企業数 (+120社) ④県内大学留学生の県内就職率 (+2.4%)		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.pref.okayama.jp/page/599469.html

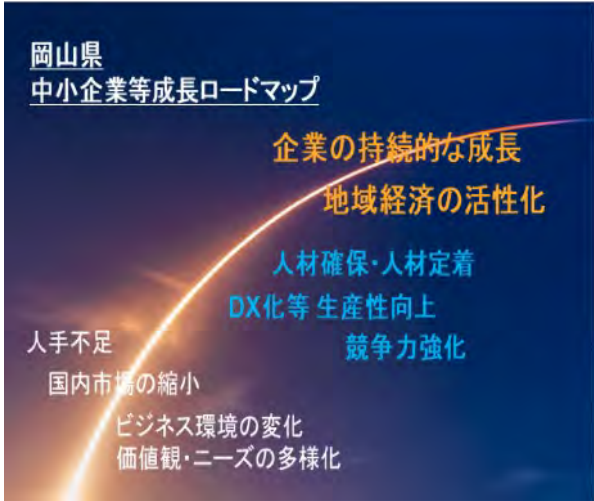
申請者	岡山県					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	139,961千円 (50,331千円)
事業類型	ソフト事業	✓	事業分野		インフラ整備事業		
目的・効果	移住者と地域双方のWell-beingを実現することにより、「晴れの国ぐらし」のブランドを確立する。 移住者が移住者を呼び込む好循環を創出し、社会減・自然減対策の一体的な加速化を目指す。 多様な「移住のカたち」を促進することにより、継続的かつ複層的なネットワーク形成による担い手確保のスキームを構築する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・女性先輩移住者によるブース出展やワークショップなどを行うフェスの開催 ・若者（ファミリー層）や女性の移住を促進するため、移住イベントのブランディングと一体的なプロモーションを展開 ・関西に進学した女子学生のUターン促進のための交流会等の開催 ・空き家を活用した子育て世帯向けのお試し住宅の整備等、市町村が実施する移住・定住促進の支援						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・晴れの国ぐらし女子フェス等の開催（委託料等） 20,767千円 イベント開催、タイアップ記事掲載、現地ツアー開催等 ・プロモーション実施経費（委託料） 7,527千円 ・晴れの国ハブ＆スポーク型相談員ネットワークの構築（報酬、手当等） 11,111千円 ・関西に進学した女子学生Uターン促進事業（委託料等） 7,613千円 開催WEB広告、イベント開催及び事後交流企画開催経費 ・晴れの国ぐらし子育て応援パッケージ（補助金） 3,313千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数 （お試し住宅利用後に移住した者）（+48人） ②移住相談（関係人口を含む）件数（+241件） ③移住ポータルサイト来訪者数（若年女性）（+1,013人） ④移住支援制度の利用件数（+4,000件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.okayama.jp/page/599469.html

旧制度（推進）

申請者	岡山県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	285,129千円 (95,016千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	産学によるデジタルイノベーション創出により、県内ものづくり企業の生産性や魅力向上、若者の県内定着・還流を進める。 デジタルイノベーションの創出と社会実装に必要なとなる実践的な人材育成を図り、企業のDX化を促進する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○デジタルイノベーション創出の場の形成 成長分野企業、研究者及び学生が、先端デジタル技術の活用を軸に、組織・分野の枠を超えて共創するプラットフォームを設置し、「成長分野技術×デジタル技術」の融合プロジェクトを創出 ○実践的講座 先端デジタル技術を活用し課題解決を図るプロセスを軸とした実践的講座の実施、事業化に向けたプロジェクトを推進するためのリーダー人材の育成等 ○ワンストップ窓口の設置 自治体・企業・大学をはじめとする各産学官連携機関を繋ぐハブとなり、各機関からの相談対応やDX課題の収集と、共通化するための課題集約、共通課題解決策の横展開を推進する等、プラットフォームの活動の包括支援 【R8年度事業 経費内訳】 ・プラットフォーム運営等 (負担金) 30,000千円 (コーディネーター人件費) 6,660千円 ・実践的講座の実施 (委託費) 22,027千円 ・ワンストップ窓口運営等 (委託費) 36,013千円 (消耗品費等) 316千円		
KPI	※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値 ①地域における新規雇用者数 (+3,718人) ②県内大学新卒者の県内就職率 (+2.7%) ③デジタルイノベーション創出の場で実施したプロジェクト数 (+110件) ④デジタルイノベーション創出に向けた本事業の諸活動に参加する学生数 (+10,000人)		
URL	※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.okayama.jp/soshiki/43/#ka_headline_1 (効果検証) https://www.pref.okayama.jp/page/599469.html		

事業概要：中小企業等持続的成長促進プロジェクト

継続

申請者	岡山県					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	281,474千円 (98,638千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・生産年齢人口が減少していく中で、少ない人的資源を自社の雇用につなげて定着させる取組を進めるとともに、DX化の推進により業務の効率化・省力化や外国人材の受入強化を進めることで県内企業の人材不足への対応力強化を図る。 ・ものづくり企業をメインターゲットとして、各企業の課題に対応できるよう、製品開発からデザイン力向上、知的財産権の活用促進、マーケティング力強化などの一連の取組を進めることで企業の競争力強化を図る。 ・これらの取組を進めることで、県内企業の持続的な成長を促進し、地域経済の活性化を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 事業者の人材不足への対応力を強化するため、支援機関と専門家が連携した伴走支援を行うとともに、支援機関向けの研修会等を開催し、商工会等の指導員のスキル向上や優良支援事例の横展開や、外国人材の受入強化を図る。さらに、IT利活用相談窓口の設置や、企業とITベンダーのマッチングなどノウハウ的な支援を行う。 事業者の競争力強化に関しては、製品づくりから販売にいたる一連の支援を行う。具体的にはセミナー・講座の実施などにより、開発技術の底上げ及び製品設計やブランド構築といったデザイン活用能力の磨き上げ、知的財産権の活用力向上を行う。またマーケティング力強化等に向けた伴走支援や展示会・商談会への支援を実施する。さらには、企業の自主的な課題解決能力の強化に向けて伴走支援等を実施する。加えて、県内の商工団体等の認定支援機関の職員に経営計画を策定する研修を行い、県内認定支援機関の企業支援能力の底上げを図る。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○人材不足への対応力強化事業 ・伴走支援及びセミナーの開催等（委託料等）9,310千円 ・IT利活用相談窓口の設置等（委託料）6,596千円 ○ビジネス環境の変化及び価値観・ニーズの多様化に向けた競争力強化事業 ・開発能力・技術向上セミナーの開催等（報償費等）1,526千円 ・デザイン力向上セミナーの開催等（報償費等）4,518千円 ・知的財産権の活用力向上に向けた研修会の開催（委託料）3,521千円 ・マーケティング力強化等に向けた伴走支援等（委託料）33,444千円 ・新分野への参入促進に向けたセミナーや展示商談会への出展支援等（委託料）12,578千円 ・課題解決能力向上に向けた伴走支援等（委託料）14,832千円 ○外国人材受入支援強化事業 ・企業向け相談窓口の設置（委託料）8,295千円 ・留学生向け県内企業訪問ツアーの開催（委託料）1,918千円 ・合同企業説明会の開催（委託料）2,100千円							
主なKPI	①一人平均月間現金給与額（+24,677円） ②製造業の従業者一人当たりの付加価値額（+660,000円） ③地域における新規雇用者数（+3,718人） ④専門的知識・技術を有する外国人労働者数（+471人）					URL		https://www.pref.okayama.jp/page/599469.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：世界に羽ばたけ！グローバルおかやまフードプロジェクト事業

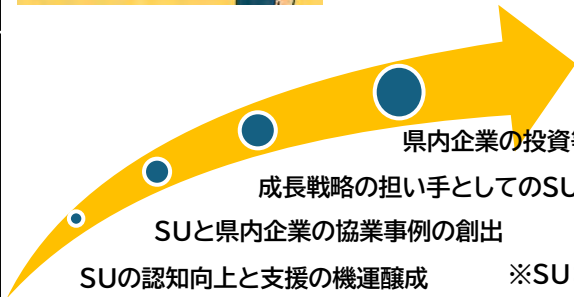
継続

申請者	岡山県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	568,851千円 (185,398千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少に伴い、国内市場は縮小傾向にあり、持続可能な地域経済の発展に向けて、海外市場へも積極的に販路を拡大していく必要があり、そのためには、海外等でも評価される付加価値の高い商品作りなど稼ぐ力を高める必要がある。 そのため、農業者・事業者のマーケティングスキルアップ、デジタルを活用した国内・インバウンド対策、海外等への販路拡大を進め、地域農業の活性化や岡山ブランドの確立を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタルマーケティングを活用しながら海外等でも評価される付加価値の高い商品作り、販売戦略を実行できる農業者、6次産業化事業者を育成し、所得向上と雇用の創出等を図る。また、海外はもとより、輸出等への拠点となる大都市圏において、積極的な情報発信やプロモーションを展開し、海外メディアやインバウンド等への情報拡散により他地域との差別化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・産地のマーケティング戦略の策定・実行の支援（委託料等）6,319千円 ・6次産業化事業者のECサイトの活用に向けた支援（委託料）11,396千円 ・輸出拡大に向けた岡山県農林水産物や県産品のPR（委託料等）59,602千円 ・民間主体の輸出拡大に向けたPR支援（補助金）6,698千円 ・岡山県産品のブラッシュアップ等への支援（委託料等）39,712千円 ・セミナーや海外バイヤー等との商談会の開催（委託料等）26,337千円 ・海外メディアの誘致や多言語によるSNS発信（委託料等）35,334千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県産農林水産物の輸出金額（+1.23億円） ②県内のデジタル技術を活用する6次産業化事業者の割合（+9%） ③あっせん・サポート等による取引成立件数（+42件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.okayama.jp/page/599469.html

事業概要：生き活き拠点を核とした集落生活圏形成促進事業

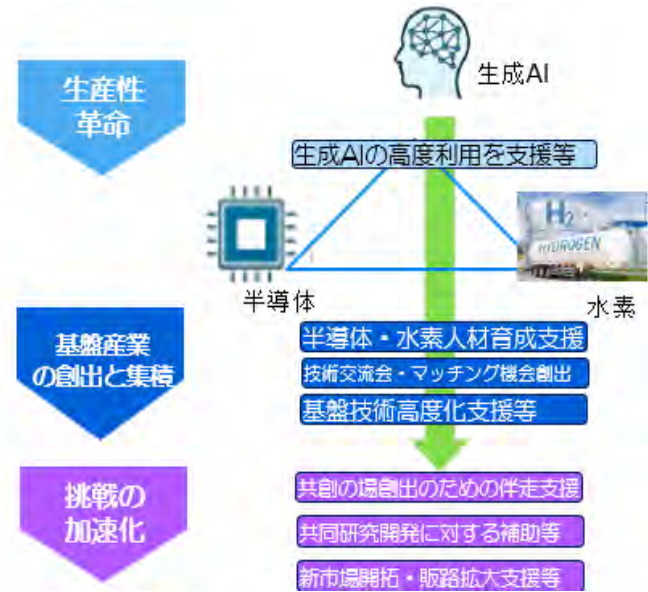
新規

申請者	岡山県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	60,000千円 (20,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・一定のエリア内の拠点的地域において日常生活に必要なサービス機能を集約した「小さな拠点」の形成を図るとともに、点在する集落と拠点をつなぐ「集落生活圏」の形成による、地域の暮らしを支える仕組みづくりを推進する。 ・「小さな拠点」は、地域の農産物や特産品、空き店舗、公共施設、人材などの地域資源を有効に活用し、販売拠点・加工拠点・情報発信の場として機能させることを通じて、新たな商品開発や販路拡大を支援し、雇用の維持・創出につなげるなど、地域産業の振興に資するものであり、外部人材の受入の促進により、地域の担い手を確保し、地域活力の維持・向上につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 日常生活を維持する上で欠かすことができない生活機能・サービスの維持・確保、及び拠点を活用した事業展開を目的とした拠点の整備に取り組む市町村に対して支援を行う。地域の自立化及び持続的な拠点運営を達成するため、拠点を運営する地域運営組織の法人化を推進する。 地域の実情に応じて、拠点を中心とした集落生活圏を対象とした事業展開を行うことで、点在する集落と生き活き拠点を結ぶ「拠点を中心とした集落生活圏の形成」に取り組む市町村に対して支援を行う。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・生き活き拠点形成促進事業 拠点整備に取組み市町村に対する支援（補助金）10,000千円 ・生き活き拠点を運営する地域運営組織の法人化支援事業 勉強会の開催（人件費、使用料、事務費）1,110千円 専門アドバイザーの派遣（委託費）3,890千円 ・生き活き拠点を中心とした集落生活圏形成ネットワーク整備事業 拠点を中心とした集落生活圏の形成に取り組む市町村に対すり支援（補助金）5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①小さな拠点を中心とした集落生活圏の人口（+4,000人） ②小さな拠点の数（+5箇所） ③関係人口がかかわる小さな拠点の数（+5箇所）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年11月公表予定

申請者	岡山県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	150,873千円 (50,291千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・県内においても、様々な主体により、起業の「数」に着目したシード・アーリー期の支援策は充実してきているものの、最終的なEXIT（株式上場やM&Aなど）を目指すミドル期・レイト期スタートアップに対する支援策は不足しているため、支援策の強化を図り、「事業規模の拡大」を強力に後押しするための支援体制を構築していく。 ・スタートアップと県内企業を結びつけることで、生産性の向上や新技術の開発等イノベーションの創出が見込まれ、地域の稼ぐ力の強化と強い地域経済の醸成につなげていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スタートアップの成長を加速させるため、イベント開催や成果実装により、マッチングの機会を創出するとともに、展示会出展費用を補助することで、製品化から販路拡大まで支援する。さらに、専門家による伴走支援やピッチイベントを通じて、資金調達の機会を提供し、スタートアップの力強い成長を一体的に後押しする。					 ・SUの規模拡大 ・ブランド認知と信頼性の向上  県内企業の投資等エコシステムの形成 成長戦略の担い手としてのSUの活用 SUと県内企業の協業事例の創出 SUの認知向上と支援の機運醸成 ※SU:スタートアップ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・スタートアップ認知向上・支援の機運醸成イベントの開催（委託料） 2,576千円 ・成果実装プロジェクト（委託料、補助金）27,125千円 （1）オープンイノベーションマッチングによる成長促進支援 （2）事業展開や企業と協業する上で足掛かりとなるプロトタイプ製作支援 ・販路拡大支援事業（委託料、補助金）11,117千円 （1）スタートアップが国内の展示会へ出展する費用の一部を補助 （2）大規模スタートアップイベントへのブースの出展を実施 ・アクセラレーションプログラム（委託料）9,473千円 先輩起業家や専門家等の伴走支援による磨き上げの実施						
主なKPI	①県内事業所（製造業）における付加価値額の増加額（+1,783億円） ②J-Startup選定件数（累計）※地方版含む（+6社） ③オープンイノベーションマッチングによる県内企業とスタートアップのマッチング件数（+9件） ④販路拡大支援事業により支援した事業者の展示会出展での商談実績（+90件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年11月公表予定

事業概要：おかやまAI・半導体・水素等産業競争力強化プロジェクト

新規

申請者	岡山県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	410,166千円 (137,104千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	半導体・水素を先端基盤産業に位置づけ、生成AIと一体で三本の矢で本県産業の高度化を推進。高度人材の育成と交流基盤を整え、研究開発から市場展開、再投資までの価値循環を確立し、県内産業の競争力強化と持続的成長を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「生成AI」「半導体」「水素」の3分野を対象に、企業のスキルアップを図る人材育成や協業を促すマッチング支援から、そこから生まれた新事業の芽を形にするための共同研究開発への補助までを、一気通貫で強力に推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・RAG技術を用いたAIチャットボットの作成支援（委託料）15,400千円 ・現場DX構想策定・導入計画支援（委託料等）7,755千円 ・現有資産を活用したデジタル化投資補助（補助金）2,400千円 ・GXの観点からの競争力強化（委託料等）6,994千円 ・半導体産業 中核的産業人材育成（委託料等）2,013千円 ・水素参入促進に向けた人材育成支援（委託料等）1,113千円 ・半導体オープンイノベーション推進、水素産業共創促進（技術交流会、マッチング機会創出）（委託料等）6,579千円 ・先端基盤技術高度化支援（超精密加工セミナー等）（委託料）8,759千円 ・基盤技術の課題解決のための専属コーディネーター配置（報酬等）4,912千円 ・キーテクノロジー産業の共創の場創出のための伴走支援等（委託料等）30,542千円 ・共同研究開発プロジェクトに対する補助等（補助金等）40,308千円 ・キーテクノロジー産業参入促進セミナーの開催（委託料等）2,038千円 ・新市場開拓・販路拡大支援（DX活用による市場進出）（委託料等）8,291千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①特定製造業＊の製造品出荷額の対前年度増加率の増（＋5.5%） ＊電子部品・デバイス・電子回路、半導体製造装置製造業 ②製造業における一人平均月間現金給与額（＋30,344円） ③半導体・水素コンソーシアム会員企業の研究補助金申請件数（＋87件） ④半導体・水素コンソーシアム会員企業の会員間マッチング件数（＋54件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年11月公表予定

事業概要：変革の時代に応える力を！新たな時代を切り砕く自動車産業の持続的な成長支援プロジェクト

新規

申請者	岡山県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	367,872千円 (122,624千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本県の自動車産業は、製造品出荷額及び従業員数のいずれにおいても全体の約1割を占め、本県の雇用や経済を支える基幹産業であり、裾野の広い自動車産業を支援することは、本県の製造業全体の成長につながる。 ・技術開発力・生産性の向上、販路拡大等を包括的に支援することで、県内自動車関連企業が急速に変化する環境変化に対し柔軟に対応できる競争力を身に付け、技術力と経営基盤を強化し、地域経済全体の持続的な発展と雇用の維持・創出を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 自動車メーカーとの共同研究や新分野進出、開発人材の育成、専門家による生産性向上の伴走支援、大規模展示会への出展支援などを通じて、県内企業の技術開発力や提案力向上を図る。					MMCの開発チーム テーマA、B、C ・研究テーマ開示 ・県内企業へ研究依頼 ・共同開発 ・改善点、問題点の共有 県内企業	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○新技術・新製品等開発支援 ・次世代技術開発（委託料）25,860千円 ・次世代自動車の構造研究（委託料）24,736千円 ・自動車業界の最新情報発信（委託料）3,294千円 ・自動車+αの売上柱構築（委託料）11,292千円 ・開発スキルの向上アップ（委託料）7,335千円 ・企業間の連携促進（委託料）6,154千円 ・共同研究（補助金）13,058千円 ○生産性向上支援パッケージ（委託料）13,456千円 ○提案力向上支援 ・展示会共同出展（委託料）15,578千円 ・自動車メーカー等とのマッチング支援（委託料）1,861千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①付加価値増加額（+111億円） ②新規商談・取引・受注拡大片数（+6件） ③共同研究補助件数（+12件） ④生産性改善実施企業数（+45社） ⑤共同出展及びマッチング支援参加社数（+48社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年11月公表予定

申請者	岡山県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	235,841千円 (69,877千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・「DXやデジタル化に必要な人材を確保するコストが高いため、人材不足によりDXが進まない」という構造的な問題を解決する。 ・社外からIT人材を採用できない事業者が自社でIT人材を育成することで、企業のDXを推進する人材を確保し、競争力や事業継続力を高める。 ・デジタル化の推進を支援することで、法人・個人問わず高いデジタルスキルを身に付け、売上・利益の拡大化や高い経済力を持つ人材として成長できる環境を整備することを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業ではDX推進・生成AIをはじめとしたデジタルツールを使いこなすIT人材を育成することで、企業のDXを推進する人材を確保するほか、支援体制の強化により、競争力や事業継続力を高める支援をする。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○DX推進人材実践型支援事業 ・DXの知識を活用するワークショップの実施（委託料）5,527千円 ・DX推進計画に関する研修の実施（委託料）8,064千円 ・地域女性へのデジタルスキルのリスキリング及び就業支援、地域企業のニーズ調査などの実施（委託料）26,400千円 ○生成AI等活用によるデジタル化推進事業 ・事業者向けセミナーの実施（委託料）1,798千円 ・支援機関向け研修会の実施（委託料）732千円 ・専門家派遣を伴う伴走支援（委託料）11,620千円 ・事業者のデジタル化に係る支援機関向け相談窓口設置（委託料）15,736千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①岡山県の従業員1人当たり売上高（+2,600千円） ②業務に生成AIを活用している事業者の割合（+15%） ③本事業を通じてデジタル化による業務効率化等を実践した事業者数（+600者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年11月公表予定

事業概要：雄町米から広がる おかやま酒物語プロジェクト事業

新規

申請者	岡山県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	32,713千円 (11,095千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	岡山県が全国生産量の95%を誇る雄町米を核に、県産酒のブランド価値を高め、国内外の両面で市場拡大を図っていくため、酒蔵の海外での営業活動の経費の一部を補助するとともに、雄町米の認知度を高める特設サイトの創設や東京でのポップアップイベントを実施する。 雄町米を核とした県産酒の国内外での販路拡大を促進し、海外市場の販路拡大や首都圏でのブランド発信、酒蔵ツーリズム促進により、関連産業への波及と地域経済の拡大を目指す						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 各酒蔵の輸出戦略に沿った活動を支援するため、海外での見本市・展示等の海外での営業活動を行った酒蔵に対し経費の一部を補助する。 また、県産日本酒の認知度向上と需要創出を図るため、特設サイト開設、都心部での体験イベントなどファン獲得に向けた取組を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 海外での見本市・展示等の経費の補助、雄町米のブランド力を生かした特設サイトの構築、首都圏でのポップアップイベントの実施 ・日本酒世界進出支援事業（補助金）4,500千円 ・特設サイト開設、ポップアップイベントの実施（委託料）6,595千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（+100万人） ②県産酒の輸出金額（+2,200万円） ③本事業により造成したコンテンツ数（+40件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年11月公表予定

事業概要：地域公共交通運行体制アップデート事業

新規

申請者	岡山県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	71,288千円 (22,724千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・喫緊の課題である運転者等の人材不足や高齢化に対応するため、潜在的な就職希望者や外国人を含む多様な人材の確保に取組むとともに、自動運転技術の導入を推進するなど、運行体制のアップデートを進め、持続可能で利便性の高い地域公共交通体系の実現を目指す。 ・これにより、地域の持続可能性を高めるとともに、通勤・通学、通院、買い物、観光等、地域住民一人ひとりの暮らしと安全を守る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 潜在的な就職希望者の関心を喚起し、求職者と事業者のマッチング機会を提供することに加えて、特定技能制度に基づく外国人ドライバー(バス・タクシー)の受入れに向けた支援を行い、人材の確保に取組む。併せて、自動運転の導入を検討する県内の市町村に対して伴走支援を行い、導入を検討していない市町村に対しても、検証結果を共有することにより、県内全体での導入の促進を図ることで、持続可能な利便性の高い地域公共交通体系を実現する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 (1) 地域公共交通就職マッチング支援事業(委託料) 5,558千円 交通事業者・業界団体・国・市町村等と連携した就職説明会・運転体験会の開催 (2) 外国人ドライバー受入プロセス支援事業(委託料) 7,166千円 特定技能制度の理解促進及び受入れに向けた機運醸成を図る説明・相談会の開催 円滑な受入・定着を図るモデル事業の実施 (3) 自動運転導入支援事業(委託料) 10,000千円 導入計画の策定等の具体的な取組を行う市町村を伴走支援						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①社会増減数(外国人含む) (+729人) ②県内乗合バス事業者における運転者の平均年齢 (▲1.5歳) ③県内市町村における自動運転導入に向けた取組件数 (+6件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年11月公表予定

事業概要：サステナブルな観光地づくり推進事業

新規

申請者	岡山県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	407,882千円 (143,246千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・観光関連データマネジメントプラットフォーム(DMP)の拡充やデータ分析・活用ができる人材の育成を図る。 ・アートの力を活用した取組や、高付加価値なコンテンツ造成や磨き上げ、おもてなし力強化により観光客の満足度を向上させ、国内外の宿泊者数及び消費単価の拡大、リピーターの獲得を実現することにより、安定的な消費構造を構築し、観光入込客数の拡大と地域産業の振興によるサステナブルな観光地づくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 DMPの充実やデータ分析ができる人材育成を図るとともに、高付加価値なコンテンツ造成、受入体制整備、国内外向けの情報発信を行い、地域経済活性化と観光客、宿泊客増加を図る。					  	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○観光DXを活用した戦略的な観光地づくり推進事業 ・観光客動態調査等の分析によるDMPの充実（委託料）1,650千円 ・DMPの拡充及びデータ分析・活用ができる人材の育成（負担金）22,940千円 ○体験型コンテンツ高付加価値促進事業 ・訪日外国人観光客の動態調査（委託料）11,004千円 ・体験型コンテンツ等の造成（負担金）30,716千円 ・大型グルメイベントの開催（委託料）17,000千円 ○ホスピタリティの向上事業 ・外国人向け二次交通紹介ページ（負担金）660千円 ・外国人受入体制セミナー等の実施（負担金）276千円 ○県北アートを切口としたインバウンド誘客促進事業 ・芸術祭を観光コンテンツとした海外PR等（負担金）28,500千円 ・インバウンドに対応した芸術祭への取組（負担金）30,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（+133万人） ②県内延べ宿泊者数（+45万人） ③外国人延べ宿泊者数（+107千人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年11月公表予定

事業概要：岡山市版スタートアップ・エコシステム形成によるスタートアップ創出事業

旧制度（推進）

申請者	岡山県岡山市	初回採択回	令和４年度第１回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	356,320千円（54,400千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	スタートアップの成長に繋げるため、アクセラレータープログラムやアントレプレナーシップ教育の実施や当市が社会課題解決のための実証フィールドを提供を行うとともに、ももスタを中心とした「岡山市版スタートアップ・エコシステム」を形成し、スタートアップに関する様々なステークホルダーが自発的に関わることが出来るコミュニティ形成に向けた支援を行う。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・スタートアップ支援拠点「ももスタ」の運営 ・起業家の掘り起こし・裾野拡大イベントの実施 ・起業家の創出・事業成長のための連続プログラムの実施 ・次世代起業家育成のための連続プログラムの実施 ・X-Techビジネス創出促進のための連続プログラムの実施 ・資金調達基盤整備による資金調達手段の拡充支援 ・先進技術社会実証フィールドの提供		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・スタートアップ支援拠点運営事業（負担金 15,000千円） ・スタートアップ支援事業66,600千円 （うち対象外経費27,200千円） （委託料 65,100千円 負担金 1,500千円）		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①市の創業支援による創業者数（+30人） ②ももスタで開催されるイベントへの参加者数（+2,300人） ③ベンチャーキャピタル等から投資が行われたスタートアップ企業数（+15社） ④市の創業支援により創出された新規事業数（+20件）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.city.okayama.jp/shisei/0000071601.html

事業概要：デジタル技術を活用した健康習慣の定着化事業

旧制度（推進）

申請者	岡山県岡山市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	264,938千円（50,967千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	高齢化、生産年齢人口の減少が進む状況にあっても、「子どもからお年寄りまで、病気や障害などの有無に関わらず生きがいを持ち活躍できる社会」の実現に向け、行政だけでなく民間事業者など、様々な関係者と連携する。 住み慣れた地域における日常生活の中で「健康」につながるサービスを無意識のうちに利用でき無理なく続けられる環境である「自然と健康になれるまち」の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「運動」「栄養・食生活」「社会参加」の活動にポイントを付与し、インセンティブによって行動変容を図る、という基本的な構成を引継ぎつつ、参加者の利便性向上のため、スマートフォン向けアプリケーションを使用するなど、デジタル技術を活用した生活習慣の定着化事業を実施する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ポイント事業の推進主体（事務局）の維持（委託料11,327千円、消耗品費51千円） ・デジタル技術の活用（委託料 7,700千円） アプリのアップデート、マイナポータル A P I 連携の実装等 ・参加者募集のプロモーション（委託料 2,200千円） ポイント付与、協賛品提供等で参画する事業者の募集 ・自走化のための生活習慣改善メニューの検討、開発（委託料 29,689千円）		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値			
	①医療費抑制効果額（+ 412,500千円） ②健康習慣の定着率（+ 13%） ③サービスを提供する店舗等の数（+ 270箇所） ④アプリ相談会の総参加者数（+ 720人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.okayama.jp/shisei/0000071601.html

事業概要：岡山市版イノベーション創出拠点形成事業

旧制度（推進）

申請者	岡山県岡山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	60,000千円 (20,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	地域経済の生産性向上にはイノベーションの創出が重要となる。そのため様々な属性のプレイヤーからイノベーションが連続して生まれる環境をつくることにより、①新たな価値を伴った事業の創出による新市場の開拓や外貨の獲得、地域のデジタル化への寄与、②イノベーションが創出される街というブランディングに伴う感度の高い若年層の定住率の向上、労働人口の増加等を図り、地域社会の活性化、人口増加等の好循環を生み出す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・様々な属性のプレイヤーが集まる拠点を形成し、支援策を集中させ、プレイヤーが集まる環境をつくる ・イノベーション創出に必要な基礎的なノウハウやデジタル先進技術を習得する機会を提供しイノベーション創出に取り組む人材を育成 ・イノベーション創出の可能性が高いアトツギについては並行して独自の支援プログラムを実施し、集中的に成長を支援		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・拠点運営経費（委託料）：12,000千円 ・勉強会運営経費（委託料）：8,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用数（+15人） ②イノベーション創出拠点年間のべ利用者数（+1,500人） ③イノベーション創出拠点で開催されるイベント・プログラム年間のべ参加者数（+300人） ④中小企業庁主催「アトツギ甲子園」エントリー数（+6件）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.okayama.jp/shisei/0000071601.html

事業概要：XRを活用した岡山城魅力アップ事業

継続

申請者	岡山県岡山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	62,300千円 (23,300千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	江戸時代最盛期の岡山城をCGデータで再現し、VR動画、周遊型コンテンツ、戦国期からの変遷を示すパネル等を制作し、海外も含めた情報発信を行うことにより、観光客数及び観光消費額の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 【R7】CGデータによる復元と継承、VR動画の制作 多くの櫓や建物が集積した江戸時代の岡山城の威容及び城下町を、史料等調査や実測の上、高精度の3DCGで復元するとともに、CGデータを基に、岡山城の概観、各建物の詳細、城下町の様子などを伝える10分程度の動画を制作する。 【R8】動画放映とAR技術等を活用した周遊型コンテンツの制作 岡山城天守内で放映環境を整え、大画面で動画放映を行うとともに、CGデータを基に、AR技術等を活用してかつての建物の外観・内部をデバイス上に表示させ、本丸内を周遊できるコンテンツを制作する。 【R9】周遊型コンテンツの運用とCGパネルの展示 周遊型コンテンツの運用を開始するとともに、岡山城の時代ごとの変遷が分かるCGパネルを制作し、天守内に展示する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 VR動画放映環境整備・広報（委託料）4,800千円 VR動画追加コンテンツ制作（委託料）1,500千円 周遊型コンテンツ制作（委託料）17,000千円					制作中のCG	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①岡山市内の観光消費額（+247億円） ②岡山城天守入場者数（+33,888人） ③インバウンドの岡山城天守入場者数（+4,349人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.okayama.jp/shisei/0000071601.html

事業概要：「新たな倭国論～吉備と大和の二頭政治～」情報発信事業

継続

申請者	岡山県岡山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	38,700千円 (9,900千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・5世紀初頭、造山古墳に象徴される強大な勢力を誇った古代吉備が、大和と協力して倭国を統治していたとする「新たな倭国論」の認知度向上及び造山古墳を含む吉備路エリアの魅力度向上のため、デジタル技術を活用した体験型コンテンツの制作等を行い、観光客数や観光消費額の増加を図るとともに、地域の活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタル技術を活用し、往時の様子を再現するコンテンツを制作し、訪問者のコンテンツ体験を通じて、造山古墳を含む古代吉備に関する史跡の歴史的価値や文化的背景に触れる機会を提供する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 往時の風景を再現した現地周遊等が楽しめるコンテンツを制作（負担金）9,900千円 1 令和7年度に作成した高精度CGデータを活用し、AR制作・公開 2 VR動画、ARコンテンツを活用した周遊施策 3 新たな倭国論の情報発信						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①岡山市観光消費額（+247億円） ②造山古墳ビジターセンター来館者数（+8,772人） ③観光地域別観光客数（岡山市・吉備路）（+150千人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.okayama.jp/shisei/0000071601.html

事業概要：鎮護国家の薨を生んだ「万富東大寺瓦窯跡」情報発信事業

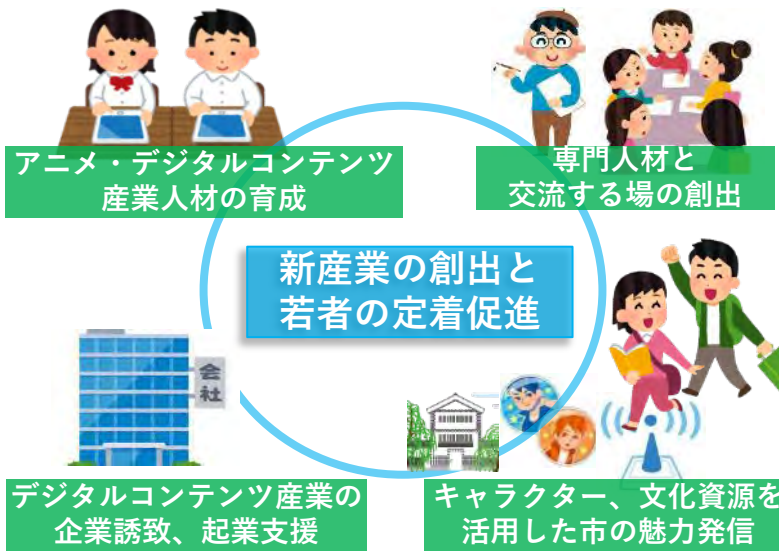
継続

申請者	岡山県岡山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	35,700千円 (14,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	鎌倉時代、東大寺再建という国家プロジェクトにおいて重要な役割を担った万富東大寺瓦窯跡の歴史的価値や文化的背景及び瓦窯跡を含む瀬戸・上道エリアの魅力向上のため、デジタル技術を活用した体験型コンテンツの制作等を行い、観光客数や観光消費額の増加を図るとともに、地域の活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタル技術を活用し、往時の様子を再現するコンテンツを制作し、訪問者のコンテンツ体験等を通じて、史跡万富東大寺瓦窯跡の歴史的価値や文化的背景に触れる機会を提供する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 デジタルコンテンツ制作事業及び魅力発信事業（委託料）14,000千円 ・東大寺サミット等で放映するための、VR技術を活用した映像を制作 ・東大寺サミット等の特集記事を媒体に掲載						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①岡山市観光消費額（+247億円） ②観光地域別観光客数（瀬戸・上道）（+8,000人） ③現地ガイド活動延べ活動回数（+4回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.okayama.jp/shisei/0000071601.html

事業概要：アートによるまちの活性化事業

新規

申請者	岡山県岡山市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	80,000千円 (10,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・「アート×地域×ビジネス」の掛け合わせによるイノベーションを創出し、地方創生を実現するエンジンとして「アートによるまちづくり」を推進する。 ・アート作品を「素材（第1次産業）」として、IP化や商品化を行う「アートの6次産業化」により、地場産業の付加価値向上と地域経済の活性化を目指す。 ・アートの自由なイメージを街全体で発信する「イメージ戦略」により、地方都市の閉鎖的な印象を一新し、若年層の移住・定住を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 障害のあるアーティストの芸術活動を切り口に、アート市場の形成とまちづくりの一体的推進を図る。 ①認知度向上・ブランディング パブリックアートの設置やアートラッピング、商業施設等での展示販売を通じ、障害のあるアーティストの作品を「優れた芸術」として一般に浸透させる。 ②プラットフォームの構築 サプライヤーである福祉施設、バイヤーである企業、キュレーターとなる学芸員を繋ぐハブ機能を整備し、アートIPの一括管理・運用を行う官民連携プラットフォームを構築する。 ③価値向上・トップアーティスト輩出 著名な専門家による審査（既存アート展の再定義）を通じて作品の資産価値を担保し、トップアーティストの育成・支援を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・障害者アートイベント開催事業（委託料）3,000千円 ・障害者アート展開催事業（委託料）3,000千円 ・公用車アートラッピング事業（委託料）1,000千円 ・障害者アート支援コミュニティ構築事業 3,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①岡山市中心部の人口（+1万6,100人） ②アート作品を購入・利用した市民・地元企業の割合（+16%） ③障害者アート展作品応募数（+300点） ④市が連携する障害者アートイベント来場者数（+1,800人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.okayama.jp/shisei/0000071601.html

申請者	岡山県倉敷市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	80,105千円 (28,969千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・倉敷市では、大手アニメスタジオが立地していることを踏まえ、アニメ業界の専門人材との連携のもと、アニメを主としたデジタルコンテンツ産業を新たな主力産業として、実践的な人材育成と戦略的な企業誘致により、若者が地元で挑戦できる「学びと雇用の好循環」を構築する。これにより「人材の流出」を「人材の還流・定着」へと転換させ、地域経済の活性化を図る。 ・創出されたコンテンツ等による市の魅力発信にも取り組み、将来的にはクリエイターが集うアニメ・デジタルコンテンツの拠点となることを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・アニメ業界のプロが指導する人材育成塾や出前講座、制作コンテストを開催し、若者が地元でプロを目指す環境を構築する。 ・共用スタジオ等の制作基盤を整備し、倉敷の文化資源を背景素材としてデータ化することで、コンテンツ制作の土台を築く。 ・著名IPとの観光イベントで短期収益を確保し、人材育成事業の発信、ディセントリーワーク調査の結果を武器に、戦略的な企業誘致を推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・アニメ制作塾、アニメ産業人材育成マニュアル作成（委託料）5,530千円 ・デジタル制作インフラ・共用スタジオ整備（委託料）8,100千円 ・IP活用による観光振興・ロールモデル創出（委託料）1,900千円 ・デジタルコンテンツ産業人材育成・交流の場づくり 施設整備（工事費）4,840千円 備品調達（備品費）6,474千円						
主なKPI	①若者の流出減（▲85人） ②人材育成講座受講者市内就労者数（+17人） ③デジタルコンテンツ制作関連企業数（+4社） ④観光、交流イベント参加者数（+1,200人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年9月公表予定

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：城下町の特性を活かした生涯活躍のまちづくり事業

旧制度（推進）

申請者	岡山県津山市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	497,900千円（87,086千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	人口減少と少子高齢化に対応し、「住み続けたい」と感じる街を創造するために、市内中心部の賑わい創出と多様な人材の交流を促進する政策を連携します。津山まちじゅう博物館構想を軸に歴史文化施設の有効活用を図り、地域づくりをリードする人材を育成することで、津山市の個性を活かした持続可能なまちづくりを行います。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光誘客を起点に地域活性化や雇用、移住支援を連動させ、持続可能な地域づくりを目指し、歴史文化施設を交流拠点に、多世代や多文化の交流を促進する。また、中心部の賑わい創出、移住者の支援、公共交通の利便性向上を図るほか、地域の健康増進や社会参加を促す施策も実施することで、「生涯活躍のまち」を実現する。		 桜のシーズンの津山城（鶴山公園）
	【R8年度事業 経費内訳】 【主な経費】 1 多様な人の交流拠点づくり 14,200千円 津山まちじゅう博物館推進コンソーシアム運営事業（補助金） 2 賑わいの創出と人材が活躍できる地域の創造 14,600千円 まちづくりプラットフォーム事業補助金（補助金） 3 交流・関係・定住人口の拡大による地域活性化 58,286千円 津山シティプロモーション戦略事業（委託料・使用料等） など		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①県外から津山市への過去5年平均の移住者数（+86人／年） ②中心市街地エリアの1日の歩行者・自転車の通行量（+975人） ③年間観光客入込数（+750千人） ④市内中心部コミュニティバス1日・1便あたりの平均乗客数 （+2.11人／日・便）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL 令和8年11月公表予定

事業概要：官民協創で築く健康で持続可能なまち推進事業

旧制度（推進）

申請者	岡山県津山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	45,400千円（20,200千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	健康に関心の薄い人を含め、住民が無理なく健康づくりの実践ができる「自然に健康に向かうことができる仕組み」を、行政だけでなく、地域の人々、民間企業や教育機関なども含めた市全体の協働と連携で、構築、普及することにより、地域の人々が健やかに心豊かに生活できる活力あるまちを目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 健康管理アプリを活用し、歩数記録、体重・血圧の記録などをポイント化する健康ポイント事業を実施し、行動変容を促進する。併せて、デジタルへの苦手意識の高い高齢者を対象に、健康管理アプリ普及のためのスマホ教室を実施する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○健康管理アプリを活用した健康ポイント事業 健康管理アプリ利用料 16,000千円 プロモーション経費 1,000千円 ○健康管理アプリ普及のためのスマホ教室の実施 スマートフォン教室委託料 2,772千円 広告折り込み委託料等 428千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域の人口・世帯数 毎月流動人口が将来展望人口を上回る人数（▲127人） ②医療費抑制効果（+1,893千円） ③健康管理アプリ利用者数（+9,620人） ④健康ポイント事業に参加する施設や店舗の数（+104件）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	令和8年11月公表予定

事業概要：歴史と文化の薫る城下町で特別な宿泊体験ができる

小規模分散型ホテル「津山城・城下町泊プロジェクト」事業

繼續

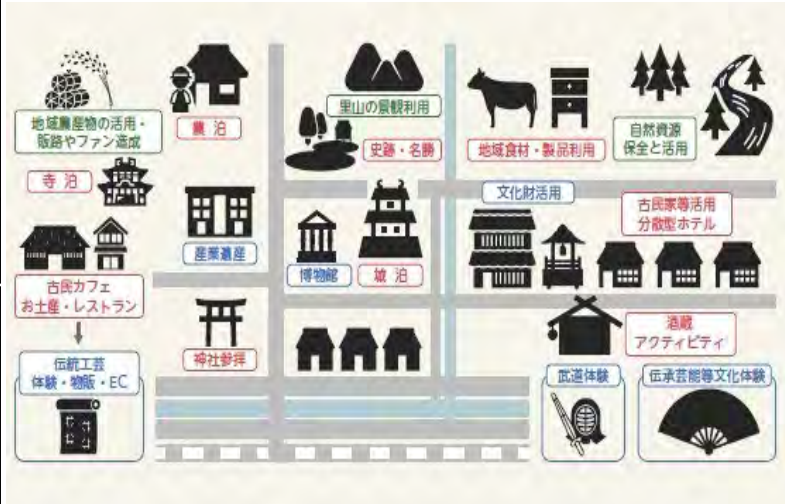
申請者	岡山県津山市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	990,000千円 (794,365千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	津山市は、史跡津山城跡や衆楽園、2つの重要伝統的建造物群保存地区などにおいて、歴史的な文化財や古民家が多く現存する「歴史と文化の薫る城下町」です。これらは観光資源として活用することで、観光客には特別な体験を提供することができますが、この潜在的なポテンシャルが十分に活かされていません。文化財や古民家を用いて津山市観光のブランディングを図ることで、観光産業の底上げによる地域経済の活性化を目的とします。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、「津山城・城下町泊」と題し、津山市内に点在する文化財を連携させ、1つのホテルに見立てて活用する「小規模分散型ホテル」の整備です。本事業では第1期工事として、津山城の鶴山館、衆楽園の余芳閣および迎賓館、城東地区の旧梶村邸を宿泊施設ならびにレストランとして活用します。					 津山城と城下町	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物本体工事 4施設の本体工事 478,311千円 ・建築物と不可分な設備工事 280,502千円 ・解体・外構工事 17,644千円 〔効果促進事業（ソフト）〕 ・デジタルコンシェルジュ、顧客管理システムの整備 17,908千円・					 客室イメージ	
主なKPI	①地域における観光消費額（+1,750円） ②津山城に入園するインバウンド数（+1,750人） ③観光入込客数（+1,600千人） ④観光センター売上高（+2,500千円）					URL	令和8年11月公表予定
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

申請者	岡山県津山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	167,867千円 (60,650千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を生む好循環をGlocalな考え方を基礎に進めていく。 ①働き方改革（テレワーク）により、新たな雇用を創出する。 ②コミュニティ活動を活性化させ、地域経済循環の仕組みを構築し、担い手不足の解消を図る。 ③産官金が連携した窓口を設置し、創業や就職、住まいの相談などをワンストップで行う。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 生産人口拡大、IT人材育成、地域活性化、郷土愛の醸成を目的に、無料の就職マッチングサイトを活用した地元企業と女性や若者の結びつきを強化や、産官金のワンストップ窓口による新たな雇用や創業を促進する。また、テレワーカーの育成と求人のマッチングを実施し、地域の経済活性化を図る。さらに、地域課題に取り組む移住者の受け入れ体制を整え、郷土への愛情と誇りを育むため、コミュニティ・スクールの充実を目指す。					産 官 ワンストップ 創業・移住支援 金 テレワーク 人材育成・教育者育成 担い手作り ローカルコミュニティの活性化	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地元企業のデジタル人材育成支援事業 35,316千円 ・IT人材サプライチェーンの確立による生産人口の確保事業 8,749千円 ・ローカルコミュニティ活性化事業 16,100千円 ・地域や学校に愛着と誇りをもつ子どもたちの育成事業 485千円						
主なKPI	①移住者数（+225人） ②テレワーク施設の利用人数（+6,072人） ③新規学卒者の地域内就職者数（+2,130人） ④創業支援件数（+285件） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年11月公表予定

申請者	岡山県津山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	120,139千円 (40,734千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	津山圏域（津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町及び美咲町）全体・農業関連産業全体の事業者を地域商社がハブとなって密に繋げる「生産者×地域商社×事業者を繋ぐデジタル複合経営モデル」を構築することで、「農業経営の収益性の低さ」などの諸課題に正面からアプローチし、圏域において農産物の生産・加工・流通・販売・消費それぞれの段階の関係者全体として相互利益をもたらす循環経済を実現します。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「生産者×地域商社×事業者を繋ぐデジタル農業複合経営モデル」の構築を目的に、特産物の発掘から商品開発、販路開拓、プロモーションまでの総合的な支援を行い、農産物の収益向上と農業所得の増加を図る。また、デジタル技術を活用し、農業経営の持続可能性を高め、潜在的な担い手やアイデアを掘り起こし、地域活性化を促進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・特産物・アイデア発掘事業 4,896千円 ・産地育成・営農サポート事業 3,037千円 ・商品開発ブランディング事業 10,749千円 ・オンライン・オフライン両輪の販路開拓・拡大事業 6,623千円 ・魅力プロモーション戦略事業 15,429千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①津山圏域の農業産出額（米・小麦・ブドウ・牛肉） （+4,268,325千円） ②地域商社の売上高（+200百万円） ③地域商社のプラットフォームの会員数（+500人） ④農業DX導入実証農業経営体数（+80経営体） ③地域商社の取扱商品種別（+75個） ④地域商社の累計SNSフォロワー数（+1,754人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年11月公表予定

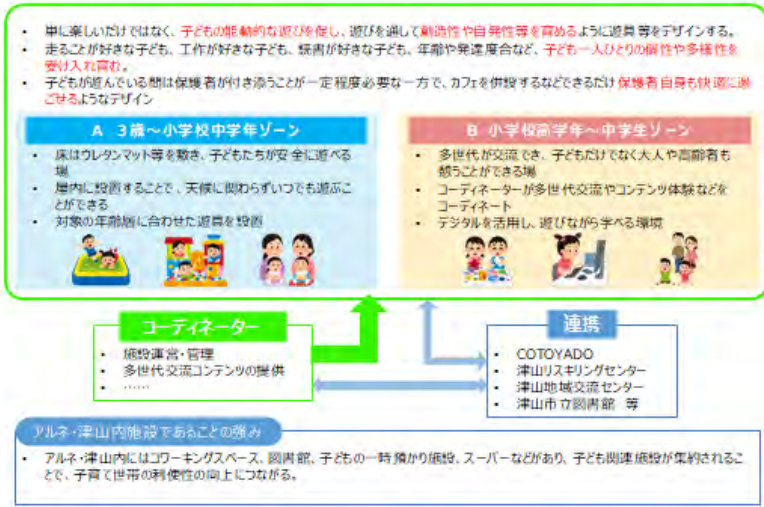
事業概要：文化観光体験エリアを造成する「まなびの城下町プロジェクト」

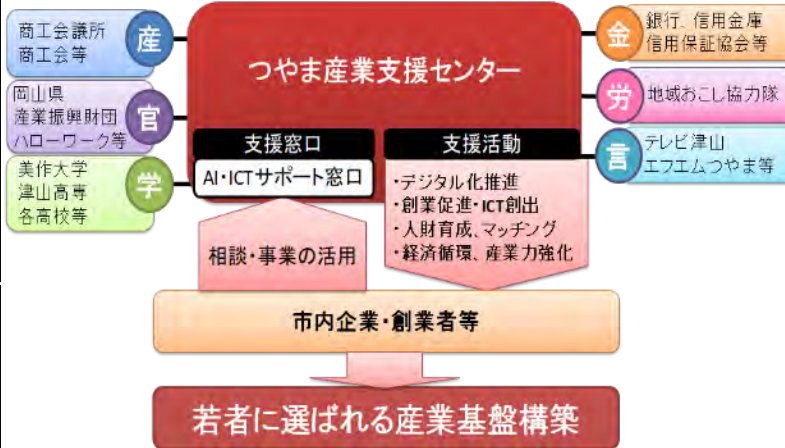
継続

申請者	岡山県津山市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	525,544千円 (235,925千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	現在整備をすすめている文化財を活用した「小規模分散型ホテル」を起点に、地域独自の食や体験を通じて日本の歴史・文化をまなぶ、城下町観光エリアの造成に取り組む。 「大人のまなび」をテーマに、宿泊事業と連携した飲食、物販、体験コンテンツの造成とプロモーション、エリア内の一次・二次交通の整備に取り組み、滞在時間・観光消費額の向上を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「まなびの城下町プロジェクト」と題し、城下町観光エリアの造成に取り組む。①「大人のまなび」をテーマにした「城下町観光エリア開発ビジョン」の策定と、推進団体となる「つやまDMC(仮称)」の設立、②「小規模分散型ホテル」の拡充（文化財客室の追加整備）、③宿・食・物販・体験などの高付加価値な観光プロダクト開発、④開発した観光プロダクトを組み合わせた観光商品の造成とプロモーション、⑤城下町観光エリアの一次交通・二次交通の整備に取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 「まなびの城下町プロジェクト」の推進主体となる「つやまDMC（仮称）」を設立し、滞在型観光への転換に向けた取組を本格的に開始する。 ・経営戦略改訂補助金 8,000千円 ・つやまDMC(仮称)運営補助金 22,000千円 ○拠点整備事業経費 知新館、備中櫓、大庄屋住宅整備費 205,925千円						
主なKPI	①地域における観光消費額平均（+1,950円） ②津山城入園インバウンド数（+1,950人） ③観光入込客数（+1,800千人） ④観光センター売上高（+3,000千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年11月公表予定

事業概要：「地域の未来を育む」子どもの遊び場整備事業

新規

申請者	岡山県津山市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	166,790千円 (32,871千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・天候に関わらず利用できる子どもの遊び場が不足しており、本市中心市街地の拠点施設の空き床を活用し整備することで、子育て世帯への魅力向上を図るとともに、中心市街地に賑わい創出につなげる。 ・元気に遊べるスペースと、高齢者等との多世代間交流ができる空間やデジタル要素を取り入れたコンテンツを展開する場を整備する。幼少期からデジタル技術に親しむ環境を設けることで、地域の産業を将来支えるデジタル人材を育成する。 ・多世代間交流やデジタルコンテンツをコーディネートする人材を育成することで、高齢者の生き甲斐創出や子どもたちが成長できる環境を整え、本市の魅力向上につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市は、少子高齢化や小家族化が進行するとともに、2050年人口（移動想定）の若年女性人口減少率が△42.6%となっている。また、雨天や猛暑時など、天候に関わらず遊ぶことができる場がないとの住民の声を多くいただいている。そのため、小学校中学年を対象とした元気に遊ぶことができるスペースと、高齢者等との多世代間交流ができる空間の整備やデジタル要素を取り入れたコンテンツを開発する。併せて多世代間交流やデジタルコンテンツをコーディネートできる人材を育成する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・コーディネーター等育成に要する経費（委託料）165千円 ・コーディネーターの活動に要する経費（委託料）750千円 ○拠点整備事業 ・多世代間交流・デジタルコンテンツ空間整備に係る設計 9,941千円 ・遊具等設置に要する経費（委託料）18,000千円 ・（効果促進事業）デジタルコンテンツ開発に要する経費 4,015千円						
主なKPI	①地域へのU I J ターン数（+60人） ②「子育てしやすいまちだ」と感じる割合（+9.6%） ③元気な高齢者の割合（+0.96%） ④中心市街地エリアの1日の歩行者・自転車の通行量（+1,220人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年10月公表予定

申請者	岡山県津山市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	300,000千円 (100,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地場産業の付加価値向上やイノベーション、販路開拓等を支援し、地域経済の拡大や生産性の向上を図る。 ・つやま産業支援センターにて産学官民金労の各機関と連携し、事業者の成長に向けたチャレンジを効果的に支援する。 ・デジタル活用や自動化・省力化設備導入を地産地消の形で進め、生産性向上はもとより、地域経済循環を高める。 ・デジタル人材の育成、マッチングを進め、競争力ある企業・産業を育成する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市が設置したつやま産業支援センターにおいて、成長に向けてチャレンジする企業や新規創業を支援するための施策を展開する。 また、デジタル関連のリカレント教育など就業に向けた人財育成に取り組むほか、市内のIT企業グループによる地域企業へのICT導入やAI活用を進め、若者の就業につなげる。 加えて地場産業の高付加価値化支援や、地域企業とのビジネスマッチングなど多岐に渡る産業支援施策により、地域内サプライチェーンの確立と魅力ある産業基盤の構築を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 〇つやま産業支援センターへの補助金 ・デジタル化推進等による地域企業の成長支援事業 34,154千円 ・多角的な創業促進・ICT創出支援事業 15,050千円 ・将来ニーズに基づく産業人財の育成・就業マッチング事業 12,000千円 ・地域経済循環促進及び産業競争力強化事業 10,350千円 ・専門人材を配した支援機関運営 28,446千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①納税義務者1人当たり総所得金額（+10万円） ②市内ICT企業雇用者数（+50人） ③ICT研修の受講者数（+500人） ④地域内企業への就業マッチング人数（+25人） ⑤地域内企業へのビジネスマッチング支援による受発注額（+1億円） ⑥創業支援件数（+150件）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年10月公表予定

事業概要：「若い世代が住みたいまち、たまの」創出プロジェクト事業

新規

申請者	岡山県玉野市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	45,224千円 (16,903千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本市の課題として、地域経済を支える人材の中心である若者世代の人口減少があり、市内造船関連企業を中心に人手不足が顕著となっていることから、将来的に本市が持つ伸び代を活かし、市民の暮らしと安全を守る取組を進めるため、この課題解決を図る。 ・若者世代（15歳～39歳）を主な対象に、観光情報などの地域の魅力を発信することで、市の認知度の向上を目指す。 ・居住環境を体験する機会や地元企業を知る機会を設けることで、移住のきっかけとする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若者世代の転出超過に対応するため、この世代に選ばれるまちを目指す必要がある。しかし、本市の認知度は低い状況にあることから、アートの島として世界的に知られている直島町と協力して双方の魅力を発信することや、新たな観光コンテンツ創出を支援することで市の魅力を高める。こうした魅力を新たに創設するシティプロモーションに特化したポータルサイト等を通じて発信することで認知度向上を図る。また、本市を知り、実際に来て、本市の豊かな自然環境に触れることで、住んでみたいと思う人を後押しする取組として移住ツアー等を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 <認知度向上に向けた取組> ・観光サイトに新たに周遊ルート生成AI機能を導入（負担金）500千円 ・直島町との連携によるPR動画作成及び広告配信（委託料）3,553千円 ・瀬戸内産業芸術祭参加企業支援（補助金）2,000千円 ・シティプロモーションポータルサイト創設費用（委託料）616千円 ・シティプロモーション研修費用（委託料）561千円 ・市内企業見学 463千円 <移住促進に向けた取組> ・移住体験ツアー実施（委託料）1,000千円 ・市内企業紹介ポータルサイト構築費用（委託料）4,015千円 ・合同企業説明会開催経費（委託料）4,195千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①移住相談員を通じて移住した人数（+5人） ②移住相談件数（+9件） ③SNS登録件数（+3,299件） ④観光入込客数（+40千人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：広域連携拠点施設（熱利用施設）整備事業

旧制度（拠点）

申請者	岡山県笠岡市ほか 4 自治体	初回採択回	令和 6 年度第 1 回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,713,847千円（589,536千円）
事業タイプ・類型	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	本施設において3市2町が人口減少や高齢化率の高まりによって抱える 4 つの課題（健康寿命の延伸，新たなコミュニティの形成，交流人口の拡大，学校施設の老朽化と水泳授業における課題）を解決し，地域の魅力を高める。自治体の枠を越えた新たなコミュニティの形成や住民間の交流を活発化することで地方創生として目指す「生涯活躍のまち」を実現し，圏域への人の流れを創出する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本施設は3市2町が岡山県西部衛生施設組合の施設として整備する。隣接地に建設中の新ごみ焼却施設から発生する熱を供給し，温水プールや温浴施設等の熱源として利用する。圏域内企業の健康経営のサポートを行うほか，子ども達が天候に関わらず運動できる場を提供する。温水プールでは18校の小中学校の水泳授業を予定している。また，都度利用しやすい料金設定や，3市2町の観光施設と連携したイベントの実施等により圏域外からの交流人口の拡大にも寄与する。 ----- 【R8年度事業 経費内訳】 ・【建築物本体工事】 412,303千円 ・【工事監理】 14,998千円 ・【効果促進事業（ハード事業）】 熱利用設備工事 38,670千円 外構工事 65,665千円 ・【効果促進事業（ソフト事業）】 備品購入費 54,052千円 開業準備業務 3,848千円		
	KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①3市2町のUIターン者数（+114人） ②3市2町における健活宣言企業数（+29社） ③圏域内観光拠点の入込客数（+121千人） ④本施設の年間利用者数（+1,141百人）	

事業概要：地域のシンボル・カブトガニを軸とした未来創生プロジェクト
～ネイチャーポジティブな地域づくり～

新規

申請者	岡山県笠岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	139,893千円 (43,439千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・若者や女性に魅力的な地場産業や地域企業が存在し、地域の若者や女性が自分たちの暮らす地域を誇りに思うような「住み続けたい」と思える地域を目指す。 ・観光と産業を横断的に捉え、専門人材の登用を通じて商品開発力・販売力の強化を図る。 ・カブトガニを象徴と位置付け、観光・商品・体験を通じて地域内外に価値を発信するとともに、若者や女性を含む多様な主体が関わり続けることで、「強い経済」と「選ばれる地域」の両立を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市の豊かな自然環境のシンボルをカブトガニとして、カブトガニを通したシビックプライドの醸成を図る。また、市内高校や近隣大学との関係を深め、ネイチャーポジティブを通じた取り組みにより、関係人口の創出を図り、もって地場産業や地域企業の人材獲得や新規プロジェクトの創出につなげる。 加えて、漁業を取り巻く環境整備により、環境と調和した地場産業の活性化に取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・専門家派遣に係る人件費 12,000千円 ・カブトガニ環境サミット実施 2,600千円 ・カブトガニ関連グッズ開発事業 1,200千円 ・豊かな海の再生事業 25,200千円 ・カブトガニ生態調査事業 1,139千円 ・自然資源をテーマとした広域観光連携事業 1,300千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①ネイチャーポジティブを通じた取り組みへの参加学生数（関係人口の創出）（+40人） ②自然をテーマとした広域観光ツアー参加者数（+40人） ③カブトガニ環境サミット参加者数（+200人） ④カブトガニ博物館入館者数（+3,080人） ⑤観光客数（+200千人） ⑥カブトガニ関連商品開発数（20商品）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年9月公表予定

事業概要：未来を担うひとづくり推進事業

旧制度（推進）

申請者	岡山県井原市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	60,266千円 (9,866千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	若者を中心とした幅広い世代の市民が、地域の魅力拡大や課題解決に積極的に参画する場を設定することで、『まちづくり』と『ひとづくり』を自分事としてとらえて積極的に関わろうとする意識と実践力を醸成し、ふるさと井原を自らの活躍の場として選び、よりよい未来を自らの手で創り出そうとする高い志と熱い想いをもちた〈井原“志”民〉の育成と〈志縁コミュニティ〉の形成を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域や学校等が連携して、子どもたちがふるさと井原を自らの活躍の場として選び、よりよい未来を能動的に創り出そうとする意欲・態度を養うため、ふるさとについて学び、魅力拡大や課題解決に取り組む学習活動や地域貢献活動を拡充するとともに、それを支える大人たちのネットワーク強化等に取り組む。また、市内企業と高校生とのつながりを強化するため、高校生向けの合同企業説明会等を開催する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業(委託料8,133千円) 井原“志”民塾・公開講座をはじめ、まち＆ひとづくりフェスタやひとづくり懇談会の開催、ワーク＆ライフ体験活動の実施、地場産業魅力発信プログラムの開発・導入、高等学校や大学との連携、家庭教育の支援、読書活動の推進等 ・いばら就職支援事業(委託料1,733千円) 高校生向けのインターンシップや合同企業説明会の開催		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①社会増減数 (+10人) ②井原市や住んでいる地域のことが好きな生徒児童の割合 (+6.0%) ③日々の生活に幸せを感じている生徒児童の割合 (+5.0%) ④いばら就職支援事業 (合同企業説明会) における市内3高校の在籍生徒数に対する参加申込生徒数の割合 (+5.0%)		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL (交付金の具体的使途・実施体制) https://hitozukuri-no-machi-ibara.jp/ (効果検証) https://www.city.ibara.okayama.jp/soshiki/3/1726.html

事業概要：ふるさと井原の未来を創る観光物産振興事業

継続

申請者	岡山県井原市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	63,400千円 (30,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	観光地域づくりの舵取り役となる新たな法人組織を設立し、その組織の主導により、地域全体への新たなヒトとカネの流れを生み出し、市民や市内事業者の収入の増加や雇用の創出など地域経済の好循環を作り出すことで、「住んでよかった、住み続けたい、住んでみたい 魅力あふれる 元気なまち いばら」の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役となる法人組織設立の支援を行う。 また、法人設立後の持続的且つ安定運営できる組織を目指すべく、体制整備や観光振興、物産振興の両面での外貨の獲得や経済循環率向上に向けて取り組むもの。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・DMO設立事務や設立後の体制整備の運営支援 4,850千円 ・旅行博出展及び現地営業活動 2,300千円 ・インバウンド富裕層向けの旅行商品造成や受入環境の整備 6,000千円 ・インバウンド受入に向けた市内団体・事業者向けのセミナー開催 500千円 ・地域産品の商品開発・販路開拓の支援 2,000千円 ・情報発信ツールの整備・活用 8,000千円 ・WEBを中心とした情報発信力の強化 5,000千円 ・井原鉄道利用促進を兼ねて国内城郭ファンの誘客拡大 1,350千円 ※全て委託により実施						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新たな法人組織（DMO）造成したインバウンド向け地型旅行商品の売上高（+10,000千円） ②観光入込客数（+160千人） ③星の郷観光案内所の売上高（+1,072千円） ④地域産品の商品開発件数（+9件） ⑤WEBサイトに訪れたユーザー数（+141千人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.ibara.okayama.jp/soshiki/3/1726.html

事業概要：高梁市観光好循環創造事業

旧制度（推進）

申請者	岡山県高梁市	初回採択回	令和6年度第2回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	69,965千円（24,227千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的・効果	地域産業の「稼ぐ力」を最大限に引き出し、地域経済の舵取り役を担う高梁地域DMOの再構築を行う。 市場調査結果等の客観的データに基づいた戦略の策定及び商品の開発・販売を行い、地域産業全体への広汎な波及効果をもたらし、市内経済全般に活力と好循環を創り出す。 市内観光を楽しめるコンテンツを開発し、滞在時間の延長、それに伴う観光消費額の増加と観光事業者の収入増を図る。			
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 高梁地域DMOを再構築し、データに基づく戦略策定から販路開拓までを担う司令塔を確立する。特産品の高付加価値化と、滞在型観光コンテンツの開発により観光消費額を最大化。さらに高梁川流域自治体との連携を強化し、広域ブランド価値を共有することで、地域経済全般に活力と持続可能な好循環を創り出す。		○高梁観光みらい会議 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ●市場調査及び戦略策定 6,000千円（委託料） これまで実施した市場調査及び地域経済活性化事業の成果を検証 ●地域経済活性化事業 ・地域産業の情報発信高度化 4,000千円（委託料） ・人材育成セミナー開催 1,000千円（委託料） ・体験メニュー開発及び販売 4,000千円（委託料） ・特産品開発及び販路拡大 4,000千円（委託料） ・県外におけるプロモーション活動 4,000千円（委託料） ●企業支援事業 1,227千円（委託料） 地元に残る若者やUJIターン者向けに、セミナーおよび講習会を開催		○体験「高梁レトロフォトウォーク」  ○新商品「さんじゅーろー最中アイス」 	
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における観光消費額（+13.9億円） ②観光案内所の売上額（+2,500千円） ③農産物販売額（+6.75億円） ④新規事業者数（+25社）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.city.takahashi.lg.jp/soshiki/2/chiikisaisei.html

事業概要：カルスト台地の豊かな自然と食材を活かした持続可能な観光地域づくり事業

新規

申請者	岡山県新見市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	499,227千円 (236,983千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・広い市域に点在する観光資源を経営の視点から効果的にPRし、地場産業の付加価値向上と地域経済の維持・拡大の実現を目指す。 ・令和9年度開催予定の「森の芸術祭 晴れの国岡山」を起爆剤とし、飛躍的な来場者の満足度向上と経済効果を最大化させるため本市観光施設の受入体制の整備を進める。 ・即時性や拡散性の高いPRによる顧客の獲得を狙い、大学生等の知見を取り入れたSNS広報に取り組む。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 有識者を交えた観光戦略会議を設置し、経営的視点での観光戦略を策定する。また、ジャパンエコトラック事業に参画し、サイクリングやトレッキングといったアクティビティを通じた周遊ルートを作成することで、市内周辺部における滞在時間と観光消費単価の向上を図る。加えて、本市が誇る千屋牛の新たな活用を生み出し他自治体との差別化を行うことで、「本市に来なければ体験できない」新たな価値を創出する。 本市広報においても、大学生等の若者や市内ステーキホルダーを巻き込んだ戦略会議を実施し、市内全体のPR力向上を目指す。					・満奇洞入口 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 マーケティング調査等を実施し、観光地経営戦略や観光資源を周遊し滞在時間の向上などを図るためのマップの策定等を行う。 ・観光地経営戦略策定、にいみ魅力発信事業、ジャパンエコトラック事業、新見市観光協会組織強化事業（委託料等）33,786千円 ○拠点整備事業 本市最大の観光地「満奇洞」の受入体制強化に向けた整備を行う。 ・測量設計及び整備費（委託料等）203,197千円					・千屋牛肉  ・満奇洞内ライトアップの様子（参考） 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+1.2億円） ②主要観光施設入場者数（+2.8万人） ③観光客アンケート満足度（+3%） ④モンベルフレンドショップ優待特典利用者数（+5,000人） ⑤市公式SNS総フォロワー数（+8,500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.niimi.okayama.jp/gyosei/gyosei_detail/index/56.html

事業概要：伝統工芸美術品「備前☆」の継承・活用による地域振興事業

旧制度（推進）

申請者	岡山県備前市、瀬戸内市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	567,334千円（89,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・伝統工芸美術品の魅力発信や販路拡大を担う連携事業者を支援する。 ・新たな需要を掘り起こすため、伝統工芸美術品の海外での巡回展の実施、出展及びテストマーケティングを行う。 ・インバウンドの誘客促進を図るため、海外をはじめ都市部でのプロモーションを行う。 ・伝統工芸美術品製作技術を活用した新たな商品を開発し、後継者の確保や育成を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域商社機能を担う事業実施組織に対して負担金の支出や委託を行い、継続的な販路の開拓を行う。また、意欲のある若手作家等への支援を行い後継者の育成を行う。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○巡回展及び普及事業 ・海外PR拡大 47,000千円 ・国内PR・販路開拓 6,000千円 ・デジタル技術等による普及・販売促進 1,500千円 ・デジタル技術等導入促進 2,000千円 ・産学連携商品開発 5,500千円 ○伝統工芸美術品生産者支援事業（ソフト） ・後継者養成事業に係る経費（補助金）7,000千円 ・製作技術向上に係る経費（補助金）10,000千円 ○伝統工芸美術品生産者支援事業（ハード事業） ・備前焼窯改築にかかる経費（補助金）10,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①海外に向け伝統工芸美術品に魅力発信・販路拡大に意欲ある事業者数（+50件） ②当事業による伝統工芸美術品の販売額（+40,000千円） ③国内外イベントの参加者数（+2,500人） ④新たに開発した商品数（+4件）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL 令和8年9月公表予定

事業概要：備前市美術館別館整備プロジェクト

継続

申請者	岡山県備前市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,233,000千円 (534,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	「備前焼伝統産業会館（JR伊部駅）」を2025年に開館した備前市美術館の『別館』として改修を行い、JR伊部駅前全体を美術展示エリアと捉え、さらなる文化・芸術の発展に寄与する施設を目指す。また、外国人を含む観光客の受入体制や情報発信体制を充実させ、観光地としてのブラッシュアップを行う。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 改修した施設を別館として整備し、観光・文化・交流の拠点として地域のシンボル化を図る。地域住民や観光客の利便性・安全性を高めるとともに、多様な人々が利用しやすい施設となり、展示や企画展、国際・国内の文化交流、アーティストインレジデンス事業により文化芸術を基幹とした地域活性化を推進する。 併せて、情報発信の強化やデジタルマップの導入による観光DXを進め、国内外からの来訪者増加と観光需要の高度化に対応する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○備前市美術館別館としての改修工事 ●建築物整備 452,780千円 ●設備整備・用地造成等 13,220千円 ●備品整備 65,000千円 ●デジタルマップ整備 3,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額 (+65,000万円) ②当該施設への来場者数 (+10,800人) ③特別企画展の実施件数 (+5件) ④プラチナマップ利用者数 (+5,500人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月公表予定

事業概要：瀬戸内市産業振興拠点施設「地域と人が紡ぐ しごと創造空間」整備事業

旧制度（拠点）

申請者	岡山県瀬戸内市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	782,554千円（168,460千円）
事業タイプ・類型	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	市中心部に地域の人材や資源が集い、交流する産業振興拠点施設を整備し、日常的に地域産業と関わりをもつ「場所」と「機会」を提供することで、地域を支える事業者・就業者の課題解決に取り組み、若者世代をはじめとした次代を担う人材の確保・育成と地域産業の持続的発展を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 拠点施設において、商工会等の支援機関と連携した事業者・就業者に寄り添った支援、全天候対応型イベントスペースやワークスペースとシェアオフィスの機能をあわせ持った多様な働き方を実現する空間を整備することで、事業者同士の交流によるオープンイノベーションの活性化やIoTやAI等のデジタル技術を活用できる人材の地域への定着を促し、地域全体の労働生産性の向上を図る。 また、市のこれまでの取り組みによって地域内に誘致した先端技術を有する企業と連携し、デジタル技術を活用した課題解決セミナー等を開催することで、デジタルソリューションの普及推進及び地域産業におけるDX化を促進する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・【建築物本体工事】 建築工事費 15,820千円 ・【建築物と不可分な設備工事】 電気設備工事 19,410千円、機械設備工事 7,144千円 ・【外構整備等】 外構整備工事等 32,708千円 ・【備品等】 会議室備品等 59,597千円 ・【その他】諸経費 31,018千円、工事監理 2,763千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値			
	①地域における新規雇用者数（+185人） ②施設利用者数（+42,000人） ③地域における新規創業者数（+10人） ④若者世代の社会増減数（+90人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（実施体制） https://www.city.setouchi.lg.jp/soshiki/92/139400.html （効果検証） 令和8年10月公表予定

事業概要：あかいわワンチーム構築事業

継続

申請者	岡山県赤磐市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	39,149千円 (14,698千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	多様な主体が関わる地域の祭りを開催することを契機として、有機的な関係、活動が促進されることで地域のステークホルダーが連携した地域づくりを行うことができるようになったり、地域資源の磨き上げを行うことで観光ルートの造成など滞在できたり、リピーターの創出につなげる。訪日外国人受入体制整備を行うことで、観光客の増加や市内事業者の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 行政と市民の多様なステークホルダー、さらには大学生や高校生などの若者も交えた様々な主体が関与する地域のお祭りを開催する。具体的には、岡山に伝わる「温羅（うら）」にちなんで始まった「うらじゃ踊り」や本市がある備前地域に伝わる伝統的な地域の踊りと共に、「よさこい踊り」などに代表される全国各地の踊り連を招聘したお祭りを、市内観光施設を会場として展開する。この踊りに並行して、地元の特産品を販売したりするブースや企業や各種団体などがそれぞれの取組を紹介したり体験できたりするようなブースを設置して見本市的な役割も果たせる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域のお祭りを開催するために実行委員会を組織し、実施のために実行委員会に補助金を交付する 【10,500千円】 ・訪日外国人受入事業として、地元業者に向けての受入体制構築研修を行う 【462千円】 ・観光施設への案内看板の多言語化や受入体制を構築する【3,736千円】						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（+48,000人） ②転入者数（+35人） ③事業への関係者数（+29事業者）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年11月公表予定

事業概要：鮭の遡上プロジェクト

新規

申請者	岡山県赤磐市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	21,806千円 (7,526千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地元企業の魅力を発信し、地元に住む若者が地元での働き方やキャリアを身近に感じられる機会を創出し、地場産業の根幹を担う雇用の創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①地域の若者と企業をつなげる接点を強化 若者の流出と人口減少と地域内での円滑な経済循環ができていないという課題に対して、中学校卒業時まで、地元で働く魅力や地域にいる大人との関係をつくる機会を創出し、社会関係資本（ソーシャルキャピタル）を高めるための取組を実施する。中学生、地域の大人、大学生が対等な立場で語り合う場づくりを実施したり、地域の企業を身近に感じられるような取り組みを行う。 赤磐市内に高等学校がないことから、本市を卒業した生徒が多く通う学校や近隣の高校に通う生徒と地元企業をつなげる機会を創出する。赤磐市の子どもの成長過程で地元企業等にふれる機会を作り、地元就職やUターンの促進につなげ、企業が抱える雇用確保の解決の一助とする。 ②域外に向けた地域企業との接点づくり 令和7年度の転入者アンケートによると、Uターン者が増加傾向にあることから、市外からの流入促進につなげられるようなPR活動を進めていくために、「本市で働く」ことも力点においた移住パンフレットづくりやウェブサイトを構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域の子どもと企業をつなぐ事業（企業勉強会など） 4,526千円 ・地域外の人と企業・赤磐市をつなぐ事業（パンフレット作成） 3,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①転入者（+95人） ②赤磐市内企業で働きたい肯定率（+20%） ③企業勉強会参加率（+25%） ④社会をよくするために何かしてみたいと考える生徒の割合（+13.6%） ⑤移住相談件数（+52件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年11月公表予定

事業概要：観光地域づくりから定住人口につなげるプロジェクト

継続

申請者	岡山県真庭市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	216,334千円 (77,288千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	ブランドコンセプトの磨き上げやターゲット設定、滞在交流プログラムの造成、人材育成、受入体制の整備を行い、持続可能な観光地域づくりを推進します。広域連携や海外プロモーション、教育旅行誘致を通じて新規顧客を獲得し、地域の魅力を発信します。 観光により得た関係人口を交流人口の創出と住みやすい地域づくりにつなげるため、移住者拡大や短期居住体験、こども園での独自体験、交流ツアーの実施などを行い、地域の活性化を図ります。 廃屋化を未然に防ぎ、安全安心な住環境の確保と空き家の活用促進による定住人口による持続可能な地域づくりを実現します。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 真庭観光局を中核に、地域資源と人材を生かした持続可能な観光地域づくりを推進し、関係人口から交流人口、定住人口への移行を図る。滞在交流型観光や高付加価値体験の創出、広域連携・インバウンド対応を強化するとともに、担い手人材の育成や受入環境の整備を進める。これにより、観光消費の拡大と雇用創出を通じて地域経済を活性化し、「住んでよし、訪れてよし」の地域づくりを実現する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・持続可能な観光地域づくりのプロモーション事業（委託料・負担金）35,910千円 ・観光看板リニューアル事業（委託料）4,999千円 ・交流人口創出（委託料、負担金、補助金等）34,379千円 移住を視野に入れた里山転校生推進、情報発信等 ・賑わいの場の創出と移住者の住みよい場所づくり改修経費補助 2,000千円						
主なKPI	①観光入込客数（+6,400人） ②旅行消費額（+2千円） ③宿泊者数（外国人宿泊者数）（+652人） ④来訪者満足度（+3%） ⑤地域認定空家契約件数（+4件） ⑥社会増減（+120人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

申請者	岡山県真庭市					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,156,987千円 (382,004千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	真庭市では、人口減少、少子高齢化等の課題に対応するため、豊かな住まい方や質の高い住民サービスが求められています。公共施設の再編やデジタル化による行政サービスの利便性の向上を図るとともに、市町村合併により形成されている現在の都市機能を見直し、若年層を中心に人口を増加させ活力あるまちとするため、公民連携により地域共創拠点を軸に持続可能な農業振興や産業振興、及びデジタル共創拠点の構築に取り組む							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 急速な人口減少と高齢化が進む真庭市において、産官学連携による「まにわ地域共創拠点」を核に、農業・産業振興、デジタル化、人材育成を一体的に推進し、地域活力の維持・向上を図る。農業支援体制の構築や多様な就業機会の創出、官民協働デジタルイノベーションセンターによる生活・防災・産業分野の高度化を進め、若者・女性の定着と持続可能な中山間地域モデルの確立、地方創生SDGsの実現につなげる。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域共創拠点の機能拡大（委託料）16,500千円 ・AI等先端技術利活用に係る共同研究（委託料）19,988千円 ・農作業受委託サービスの充実・実装（委託料）6,000千円 ・直売所が連携した販売システムの構築（補助金）44,884千円 ○インフラ整備事業 ・道路整備事業 30,000千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①社会減の減少（+238人） ②地域共創拠点に参画する企業団体数（+13団体） ③新規就職者数数（+75人） ④新規女性雇用者数（+50人） ⑤農業支援サービス事業体利用件数（+190件） ⑥計画交通量（+2,800台）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定	

申請者	岡山県真庭市、新庄村					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,271,604千円 (220,110千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	蒜山高原を観光資源たらしめている「酪農」の維持・振興を図るため、課題である副産物（脱脂粉乳等）を活用した商品開発・需要創出並びに酪農の生産基盤支援及び家畜排せつ物処理等の推進のためのプラント整備を行い、酪農を起点とした蒜山・真庭の観光振興を図る。 あわせて、地域ならではの資源である「人」に会いに行く観光を実現し、蒜山地域の観光客等を真庭地域内に周遊させ、シャワー効果を創出し、真庭市全体の観光振興を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 蒜山高原を支える酪農の生産基盤を維持・発展させるとともに、その効果を真庭圏域全体へ波及させ、観光振興と地方創生を図る。具体的には、ジャージー牛乳加工に伴う副産物の新たな需要創出に向け、産官学連携による商品開発・販路開拓や資源循環型の酪農基盤整備を進めることに加え、酪農生産基盤の維持・発展に向けた酪農家等の支援にあわせて、家畜排せつ物の利用の高度化・バイオマス利用等による循環型酪農の実現のためのバイオマスプラントの整備等を行い、川上から川下までサプライチェーン全体の振興を図る。あわせて、「人」を観光資源とした情報発信やイベントを通じ、圏域内周遊と地域間交流を促進し、地産外商や関係人口の拡大につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・施設を活用した加工品・技術開発を支援（委託料）14,697千円 ・酪農家等への体制整備の支援（補助金）82,234千円 ○拠点整備事業 ・畜産バイオマスプラント整備工事 103,543千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①真庭市及び新庄村への観光客入込客数（+14万人） ②蒜山地域への観光客入込客数（+9万人） ③脱脂粉乳等の加工品副産物の需要量（脱脂粉乳ベース換算）（+6,700kg） ④制作されたプロモーション媒体（冊子）の配布数（+1万冊） ⑤酪農家1戸数あたりの牛の飼養頭数（+310頭） ⑥消化液（液肥）の散布面積（+96ha）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

申請者	岡山県美作市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	141,510千円 (47,040千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	（一社）みまさか観光局を核として美作市の観光認知度を高め、訪れた人が満足度の高い滞在時間を過ごすことで美作のファンとなり、再来訪したくなる観光地となることを目指す。 旅行会社の伴走支援を受けながら組織体制の基礎を確立することで、盤石な受入体制を構築する。 地域の観光資源を磨き上げて高付加価値化を進め、地域の観光関係事業者と連携を図りながら観光素材を旅行商品として造成、マーケティング調査に基づいた精度の高いプロモーションを実施することで、多くの観光客が訪れる観光地となることを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 （一社）みまさか観光局が美作市の観光振興の担い手となれるよう、組織体制の基盤整備と受入体制整備を行う。 そして、マーケティングデータに基づいた広報戦略を策定し、その戦略に基づいて、地域の観光団体・事業者と連携しながら、京阪神・台湾をメインターゲットとして、美作市の観光ブランディングを推進する。そのためにプロモーション活動を積極的に展開し美作市の観光認知度を高める。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・旅行会社伴走支援（補助金） 5,500千円 ・ポータルサイトでの訪問分析（補助金） 660千円 ・広報戦略に基づくキャンペーン・情報発信素材制作（補助金） 8,774千円 ・プロモーション業務（補助金） 6,000千円 ・ロケツーリズムの推進（補助金） 2,250千円 ・観光コンテンツ造成（補助金） 2,500千円 ・地域観光団体・事業者との連携事業（補助金） 19,856千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 地域における観光消費額（+43億円） ② 観光入込客数（+297千人） ③ 京阪神からの宿泊客数（+55,000人泊） ④ 台湾からの宿泊客数（+1,100人泊）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.mimasaka.lg.jp/so-shiki/seisaku/sogoseisaku/info/7453.html

事業概要：現代玩具博物館・オルゴール夢館工作室増築・体験コンテンツ充実事業

継続

申請者	岡山県美作市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	26,051千円 (24,800千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	湯郷温泉街の主要な観光施設である現代玩具博物館・オルゴール夢館の工作室（体験施設）を本館隣に増築し、利便性を向上させることで施設の機能強化を図る。 体験施設の整備と体験コンテンツの充実による滞在時間の延長とリピーターの獲得を目指す。 来訪の目的となり得る着地型コンテンツとして、湯郷温泉街への誘客促進と観光消費額の増加に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 現在、本館から離れたところにある建物を借りて運用している工作室を本館の敷地内の空きスペースに移転増築し、備品を整える。 併せて、入館者が気軽に体験できる工作物や木工体験に興味がある観光客等をターゲットとした本格的な木工体験など、工作室で実施できる多様な体験コンテンツを新たに造成することで、工作体験を常時行える体制を構築し、誘客促進と観光消費額の増加に繋げる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ 工作室増築工事 ・ 増築工事（工事請負費） 19,800千円 ・ 工事施工管理（委託費） 1,000千円 ・ 工作室内備品購入（備品購入費） 2,000千円 ○ 効果促進事業 ・ 体験コンテンツ開発・導入（委託料等） 2,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 地域における観光消費額（+13.3億円） ② 現代玩具博物館・オルゴール夢館入館者数（+3,301人） ③ 湯郷温泉の宿泊者数（+28,617人泊）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.mimasaka.lg.jp/shiki/seisaku/sogoseisaku/info/7453.html

事業概要：地域と旅行者を繋ぐ観光案内所整備事業

継続

申請者	岡山県美作市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	120,560千円 (114,290千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	JR林野駅の駅舎及び美作インター高速バス待合所を美作市の観光情報発信の拠点施設として整備し、多言語生成系AIを活用した観光コンシェルジュを導入することで、インバウンドを含めて、知りたい情報を高い精度で常時知ることができる環境を整える。 待ち時間を快適に過ごせるよう、人に優しい空間づくりを進め、地域住民・観光客のふれあい・交流を通じて「美作ファン」を創出する。 上記の取組を通じてリピーター及びSNSによる誘客効果で観光客の増加を促すとともに、旅中の情報精度を高めて市内周遊を促進し、域内での観光消費額の増加に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 JR林野駅の駅舎及び公衆トイレの模様替、並びに美作インター高速バス待合所を新設して観光情報発信の拠点として整備する。 併せて、デジタルサイネージの導入や生成AIなどのデジタルツールを活用した観光案内体制を構築するとともに、地域と旅行者の交流の場の創出に繋がる施策を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・デジタル/手作りの交流の促進（補助金） 1,600千円 ・ショートフィルムの制作（補助金） 5,500千円 ○拠点整備事業 林野駅模様替工事 ・駅舎（工事請負費・委託料） 19,150千円 ・トイレ（工事請負費） 8,500千円 美作インター高速バス待合所新築工事 ・待合所（工事請負費・委託料） 71,500千円 情報発信備品整備（備品購入費・補助金） 5,840千円 効果促進事業＜生成AIチャットボット導入＞（補助金） 2,200千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+9.01億円） ④JR林野駅の乗車人員（+53人/日） ②観光入込客数（+19千人） ⑤AIチャットボット利用者数（+4,472人） ③インバウンド宿泊者数（+1,935人泊） ⑥掲示板アプリへの投稿件数（+1,305件）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.mimasaka.lg.jp/shiki/seisaku/sogoseisaku/info/7453.html

事業概要：地域と高校の協働体制構築プロジェクト

新規

申請者	岡山県美作市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	42,300千円 (12,300千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・岡山県立林野高等学校の「地域に開かれた学びの拠点となる潜在能力」を活かし、同校を「地域の学びの拠点」として位置づけ、地域と若者をつなぐ「協働体制（地域連携コンソーシアム）」を整備・確立し、地域協働プログラムを実施することで、高校と地域が相互に活力を高め合い、地域内外における若者の関係人口の創出、ひいては移住・定住人口の増加と、地域経済活性化を同時に図るものである。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 一般社団法人LINK MIMASAKAを中心に地域連携コンソーシアムを立ち上げ、地域住民と高校生が協働して、市内の地域資源を活かした新たな魅力創出と発信を行うものである。地域コーディネーターの配置等により運営体制を整備・確立し、空き家活用、棚田・里山保全、湯郷温泉街のフィールドワーク、地域産業体験、都市部学生スタディツアー、高校と連携した公開イベントなどのモデル事業を実施し、持続可能な地域づくりと関係人口、ひいては地域経済の活性化を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・人件費 10,000千円 （事務局およびコーディネーターとして、校内外と地域協働プログラムの企画調整、活動計画の立案） ・活動費 2,300千円 （交通費：車両リース（事業実施用）、講師旅費、フィールドワークに係る移動経費 1,150千円、SNS・パンフレット広告宣伝費 650千円、地域コーディネーター育成研修・視察費 500千円） 合計 12,300千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①転入超過数（+60名） ②岡山県立林野高等学校への入学者数（+23名） ③地域協働プログラムの参加者の満足度（+30%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.mimasaka.lg.jp/so-shiki/seisaku/sogoseisaku/info/7453.html

事業概要：「彩菜みまさか北摂店（仮称）」新設に伴う「地産外商」活性化事業

新規

申請者	岡山県美作市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	836,215千円 (30,450千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	持続的かつ安定的に農産物等を販売できる新たな地産外商の直売拠点である「彩菜みまさか北摂店（仮称）」の整備し、農業従事者の農業所得の安定・向上を図る。 単なる商品の販売に留まらず、美作市の「食」と「文化」を伝える情報発信拠点として機能することで、地域経済の活性化と持続可能な農業の実現・関係人口の創出に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 第3期「美作市まち・ひと・しごと創生総合戦略（R7.3策定）」における、4つの政策分野の1つである【仕事をつくる】事業として、大阪府茨木市に、持続的かつ安定的に農産物等を販売できる新たな地産外商の直売拠点「彩菜みまさか北摂店(仮称)」の整備する。 美作市が持つ「高品質な農産物」及び「関西都市圏から近いという地理的優位性」という強みを活かし、関西都市圏の消費者をターゲットにした「地産外商」を積極的に展開することで、単なる商品の販売に留まらず、美作市の「食」と「文化」を伝える情報発信拠点として機能することで、地域経済の活性化と持続可能な農業の実現並びに関係人口の創出と将来的な美作市への移住・定住を促すものとする。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物本体工事設計費（補助金） 30,450千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 農業産出額（野菜）（+1.0億円） ② 売上高（+9,600万円） ③ 入込者数（+15,000人） ④ 出荷登録者数（+190人） ⑤ 客単価（+500円） ⑥ 新規就農者数（+24人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.mimasaka.lg.jp/so-shiki/seisaku/sogoseisaku/info/7453.html

事業概要：大原宿・武蔵の里再生事業

新規

申請者	岡山県美作市						初回採択回	令和8年1月募集						
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	214,033千円 (21,967千円)						
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業									
目的・効果	本事業は、第3期「美作市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の政策分野【人の流れをつくる】に基づき、武蔵の里(宮本武蔵ゆかりの地)と因幡街道大原宿(近世宿場町の町並み)が抱える課題(宿泊受入不足、滞在時間の短さ、空き家・賃貸不足、町並み維持等)を、両地域を相互に補完する拠点として一体整備・運用することで解決することを目的とする。 具体的には、武蔵の里で剣道大会・合宿・武蔵ファンを受け止める短期滞在・体験機能を強化し、あわせて大原宿で中長期滞在の受け皿(住居・短期滞在・移住体験等)を整備する。これにより、来訪を一過性で終わらせず、武蔵の里を起点とした回遊を促進しながら大原宿の滞在へ接続し、観光・スポーツを入口に交流人口/関係人口の拡大から将来的な定住・学びへつながる流れを創出して、地方創生に資する持続可能な滞在型地域モデルの確立を目指す。													
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市の遊休施設である武蔵の里交流館と武蔵道場を核に一体的に整備・運用し、来訪者ニーズの高い宿泊機能を確保するとともに、滞在者満足度を高めるため、宮本武蔵の姉ゆかりの平尾家住宅を展示施設として整備する。あわせて、近隣の大原宿の維持が困難となっている町並みを構成する町家を借上げ改修し、景観の維持と空き家対策を図りつつ、武蔵の里に訪れた短期滞在者の回遊と滞在の深化を受け止める長期滞在者向け物件としてサプリースする。													
	【R8年度事業 経費内訳】 <table><tr><td>・建築物本体工事</td><td>施設改修、修繕</td><td>8,995千円</td></tr><tr><td>・委託費</td><td>施設工事設計監理ほか</td><td>12,422千円</td></tr><tr><td>・備品整備</td><td>展示施設備品</td><td>550千円</td></tr></table>								・建築物本体工事	施設改修、修繕	8,995千円	・委託費	施設工事設計監理ほか	12,422千円
・建築物本体工事	施設改修、修繕	8,995千円												
・委託費	施設工事設計監理ほか	12,422千円												
・備品整備	展示施設備品	550千円												
主なKPI	①関係人口 (+1,466人) ②回遊人数 (+16,000人) ③滞在者数 (+15,766人泊) ④大原宿町家の活用 (+8軒) ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						URL	https://www.city.mimasaka.lg.jp/shiki/seisaku/sogoseisaku/info/7453.html						

事業概要：産業振興施設整備事業

継続

申請者	岡山県和気町						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	491,786千円 (168,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	・日用品販売店や飲食店をテナント貸できる複合施設の整備を行う。また、本町の中心地であるJR和気駅周辺へのアクセス拠点となる当計画地に、町営バスのバスターミナルや休憩所を設置することで、地域住民の日常生活における利便性の向上を図る。 ・地域資源を活かした観光拠点施設として、観光情報をはじめ様々な情報を発信するとともに、地域の憩いの場、交流の場として新たな賑わいを創出する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 国道沿いに、日用品販売店、町営バス停留所、観光情報発信施設（サイクルステーション）、飲食店等へのテナントスペースを整備する。 当該施設の整備により、人口減少、買物空白地、交通弱者、観光振興、地域間交流といった地域課題の解決に向け、総合的に取り組む。 また、SNS等を活用し、日用品販売店や飲食店の情報発信を行うとともに、キャッシュレスの無人型店舗の出店についても検討し、中山間地域で持続可能な施設運営を図る。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ・造成工事、施設整備（ 照明、ガードレール、町営バス停留所、サイクルステーション、防災倉庫等） 168,000千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①佐伯地域の世帯数 … (▲121世帯) ②来場者数 … (+98,000人) ③売上金 … (+5,000万円) ④イベント開催数 … (+5回)						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：若者の移住定住・関係人口創出事業

新規

申請者	岡山県和気町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	60,060千円 (13,860千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本町の構造的な人口減少課題に対し、単なる人口数の改善ではなく若者がまちに関わり続け、役割を担い、将来的に定住となるための仕組みの再構築を行う。 ・若者を単なる支援対象とするのではなく、まちづくりの担い手、プロジェクトマネージャーとして位置づける事を目標にユースセンターの設立・運営、それを核とした活躍の場の創出と情報発信、まちに関わることによる転入・定住・就労の促進を図る。 ・人材確保等関係経費（人材マッチング等）を活用した産業基盤の強化、「共創型ワークショップ」による地場産業の生産性向上および「付加価値増額」を最大化し、一過性のイベント参加者を地域経済を支える継続的なパートナーへと転換させることで、地場産業の持続的な発展と付加価値向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・「調査・戦略策定」 若者が地域に求める価値や関与のハードルを明らかにし、戦略設計を行う。 ・「若者の活動拠点の形成」 若者の居場所兼交流拠点となるユースセンターを設立し、若者の活動が継続的に生まれる基盤を整備する。 ・「実行体制の構築」 外部専門人材（地域プロジェクトマネージャー）を配置し、事業全体の企画・実行・管理を一体的に推進する。あわせて、町が運営する公営塾や地元事業者等との連携を図り、若者の学び・挑戦・活躍の場を循環的に創出する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・若者の定住促進に向けた実態把握及び施策検討（委託料）8,910千円 ・ユースセンター及び実施団体設立・自走化支援（委託料）4,950千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①若年人口（20～39歳）（+30人） ②和気町ファンクラブ会員数（+1,500人） ③和気町ファンクラブ公式LINE登録者数（+1,702アカウント） ④ユースセンター利用者数（+600人） ⑤若者と地元企業による共創プロジェクト立ち上げ数」（+5件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.wake.lg.jp/gyoseijoho/seisaku_keikaku/sogokeikaku/1291.html

事業概要：次世代型賑わい創出基盤づくり地域創造事業

旧制度（推進）

申請者	岡山県矢掛町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	545,350千円（99,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光振興分野
目的・効果	・自然環境を活かした観光コンテンツを作り、そして道の駅を含めた3つの観光コンテンツ（道の駅、歴史文化資源、自然資源）間を1つのエリアとして、周遊できる環境構築を目指す。 矢掛町ならではの歴史文化資源・自然資源を最大限に生かして、地域が活性化される好循環を作り出す。 ・観光産業の振興から地元雇用を創出する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・周遊観光の仕掛けづくり，賑わいづくりの創出 ・道の駅周辺の可能性調査 ・新賑わい施設の基盤整備		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○アプリを活用した周遊観光の仕掛けづくり，賑わいづくりの創出 ・「アプリ」機能拡張実証実験の取り組み，ブラッシュアップ，PR，体験イベントの実施，説明会等29,000千円 ○可能性調査・計画策定・商品開発・人材育成などの取り組み ・新施設対応地元人材の育成（研修の開催等） 1,100千円 ・国内外に向けたプロモーション活動 10,000千円 ・アウトドア体験プログラムを国内外へと訴求する自走可能なアウトドアイベントの試験的開催 14,000千円 ・新施設オープン式開催 1,175千円 ○道の駅周辺一体化新賑わい施設基盤整備事業 （以下の経費のうち、対象外経費98,275千円） ・嵐山キャンプ場整備工事 69,000千円 ・嵐山再整備関連工事 34,000千円 ・ビオトープ整備工事 39,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①町内年間観光入込客数（+13.5万人） ②町内年間宿泊客数（+3,850人） ③アプリの利用者数（+1,550人）		URL ※交付金の具体的使途・実 施体制・効果検証の結果及 び改善方策への反映が記載 されているURL http://www.town.yakage.okayama.jp/post_85.html

事業概要：矢掛町イタリア野菜産地化プロジェクト

継続

申請者	岡山県矢掛町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	50,700千円 (17,100千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	矢掛町産イタリア野菜の生産体制の強化や販路開拓により、矢掛町がイタリア野菜の産地としてのブランドを確立することで、生産者の生産意欲や所得の向上に寄与し、新たな担い手の確保につなげる。また、矢掛町産の農作物のブランド化を図ることで、農業振興という新しい側面から本町のイメージアップにつなげ、町全体の地域活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 イタリア野菜の産地化のため、担い手の確保、栽培技術の強化及び栽培品目の選定、販路開拓、ブランディング及びマーケティングの向上を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・安定かつ持続的な生産体制の確立 栽培講習会の開催、調理会等の実施（負担金）100千円 農家を対象とした先進地視察の実施（負担金）300千円 実証圃場委託（負担金）300千円 資材補助（補助金）1,500千円 ・矢掛町産イタリア野菜のブランド確立 PRツール作成（負担金）5,500千円 イベント（交流イベント等）の実施（負担金）4,500千円 他団体等との連携（負担金）1,500千円 新商品化開発等に係る経費（負担金）900千円 ・安定した販路の確保 イベント出店（負担金）2,000千円 販路拡大のための出張旅費（農家・JA）500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新規イタリア野菜（リゾット米含む）の販売金額（+3,000千円） ②イタリア野菜の累計栽培農家数（+15戸） ③SNS（Instagram、フェイスブック、その他新規ツール）のフォロワー数（+600人） ④矢掛町産イタリア野菜提供飲食店舗数（+10軒）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.town.yakage.okayama.jp/post_85.html

事業概要：水車の里フルーツピア体験型施設整備事業

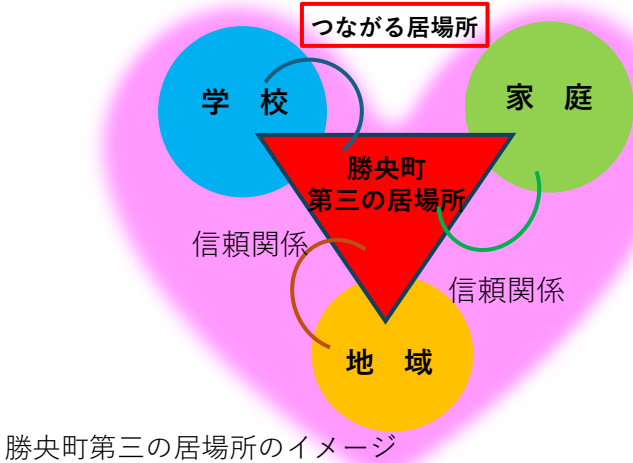
新規

申請者	岡山県矢掛町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	16,622千円 (16,622千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・水車の里フルーツピアは、フルーツ狩りができる観光農業体験施設である。いちご狩りの利用ニーズは高く、いちご狩り体験ができる受入環境を整備することで、新たな観光客の誘致、また滞在時間の延伸に寄与し、カフェや土産品の収入増加、及び矢掛商店街への波及効果も見込まれ、周遊性の促進も図ることが期待できる。 ・観光振興と、地域産業の観光事業への参画を促すことにより地域産業を成長させ、賑わいを創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 水車の里フルーツピアは、農業と自然に触れながら学ぶことができる本町が設置する唯一の観光農業体験施設である。 町の観光振興において、町内の周遊促進や滞在時間の延長等が課題であり、いちごハウスの整備を実施し、いちご狩り利用ニーズの高まりに対応するとともに、観光客の滞在時間の延長及び歴史的な町並みがある矢掛商店街等他の町内観光施設への波及効果も見込まれ、周遊性の促進も期待できる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・いちごハウス新設工事 11,122千円 ・用地造成工事 5,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①矢掛町観光者数（+50,000人） ②水車の里フルーツピア利用客数（+1,400人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.town.yakage.okayama.jp/post_85.html

事業概要：健康の町「かがみの」アウトドアから広がる地域の賑わいプロジェクト

旧制度（推進）

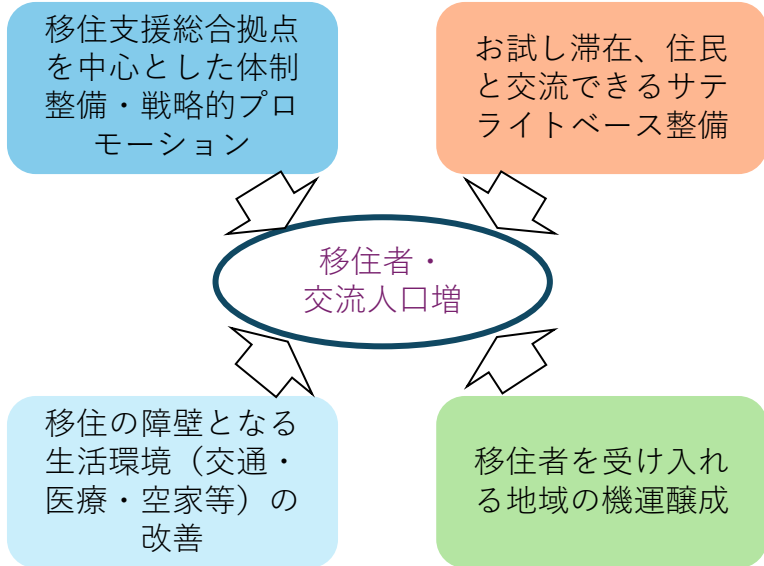
申請者	岡山県鏡野町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	141,847千円（23,260千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光振興分野
目的・効果	トレッキングやサイクリング、カヌー体験、サップ体験などのアウトドアアクティビティがアフターコロナにより、人気が高まり新たな需要が生まれてきているため、従来の観光施設等にも人の流れを波及させ、経済活性化を図る。 「健康」をキーワードにした取り組みにより新たなエコツーリズムを生み、アクティビティや自然、文化体験等を複合的に楽しめるアドベンチャーツーリズムを通じて、オンリーワンの体験ができる独自の高い滞在型観光を推進する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光総合システムを核とした効果的な情報発信・プロモーションを更に進めていくため、健康のまち鏡野町のアドベンチャーツーリズムの実現に向けたインバウンド対策として、外国語に対応したウェブサイトの構築や滞在型コンテンツを提供する。また、アウトドア企業と連携したPRイベントを実施し、アウトドアから広がる地域の賑わいを構築する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・観光地域づくり法人（DMO）運営（負担金）15,000千円 ・モバイルファーストな観光総合システム運営・構築（委託料）6,610千円 ・アドベンチャーツーリズム企画・販売（委託料）1,650千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①アウトドアアクティビティ等自然体験受入人数（+8,000人） ②アウトドアアクティビティ等自然体験受入による経済効果（+8千万円） ③かがみの里山健康クラブ会員（+7,800人） ④観光公式ホームページアクセス数（+45,000件）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年11月公表予定

申請者	岡山県勝央町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	163,945千円 (5,570千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	空き園舎を地域の子育て支援専用の施設として改修し、子育て支援をより柔軟に、一体的に行うことで、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって持続可能なまちを維持していく。 整備する施設を、若者と地域が信頼関係でつながる居場所とすることで、引きこもりや若年無業者（ニート）の予防や対策を強化し、「生涯のコストギャップ（経済的損失）」を最小限に抑える社会投資を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 不登校・発達障がいへの対応の増加や貧困など様々な課題が浮き彫りになる中、乳幼児期から39歳までの若者が利用できる子育て・若者支援専用の施設を改修した。施設では、子育て広場や一時預かり事業、多世代交流、各種相談・学び等を一体的に行うことができる子育て支援拠点として、保護者や子ども達のニーズに合わせた柔軟な取り組みを行っていく。セキュリティ面も強化し、安全安心な居場所で、小中高校生の声を反映させながら、子どもを中心とした「関わりの循環」を創出していく。					 勝央町第三の居場所のイメージ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・子ども検討委員会実施事業（委託費）360千円 ・デジタル人材育成支援事業（委託費）2,546千円 ・安全安心な居場所確保及び利用促進事業 システム開発設置委託費：2,420千円 システム運用委託費：244千円						
主なKPI	①子育て世代（20～49歳）の人口減少数（▲10人） ②年少人口（0～15歳）の転出者数（▲25人） ③「勝央子どもワイガヤ会議（子ども検討委員会）」発案のイベント・事業の開催数（+18回） ④勝央町子ども・若者サポートネットの「就労に繋がった延べ人数」（+5人） ⑤小中学校の不登校者数（▲5人） ⑥センター利用者満足度（5段階評価の平均値）（+4.5ポイント） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shoo.lg.jp/soshiki/1/6524.html

申請者	岡山県勝央町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	17,273千円 (6,545千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・町で誕生した品種「岡山甘栗」の産地拡大とブランド化により、国内オンリーワンの甘栗産地としての地位を確立する。 ・農業者が栽培等に取り組む特色ある農産物をPRし、勝央町ブランドを確立する。 ・農産物を活用した6次化商品の展開や飲食店での商品開発に取り組み、知名度ある特産品を生み出す。 ・農家所得の向上や地域内雇用の創出し、観光客、関係人口、ふるさと納税の寄附額の増加等、多面的な経済波及効果を生み出す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 町内で誕生した中国種の栗「岡山甘栗」を柱に据え産地拡大とブランド化に取り組み、国内唯一の甘栗産地としての地位を確立させる。併せて、「岡山甘栗」を柱とした、ぶどうや白桃をはじめとした果樹のほか、大粒黒大豆「作州黒」や酪農、水稻など品質の優れた地域農産物の魅力向上のためPRを行うもの。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○岡山甘栗の産地拡大に向けた生産支援事業 ・岡山甘栗新植のための苗木代と資材費を支援（補助金）2,100千円 ・先進地事例の研究のための講演会開催（謝礼金）580千円 ○町特産の農産物魅力向上のためのPR事業 ・特産品のPRに必要な広告宣伝費（委託料）2,666千円 ・学校給食での特産品の提供（原材料費）64千円 ・特産品PRのための県外イベントへ出店費用（旅費）560千円 ・ブランド化アドバイザーの招へい（謝礼金）575千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①岡山甘栗生産面積（+705a） ②岡山甘栗新規栽培者数（+15人） ③岡山甘栗農家販売単価（+150円） ④岡山甘栗新規加工品数（+15人） ⑤認定新規就農者数（+6人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shoo.lg.jp/soshiki/1/6524.html

事業概要：「まちへのひとの流れをつくる」移住促進事業

継続

申請者	岡山県奈義町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	761,300千円 (417,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	人口を維持するうえで、子育て世帯や若者をターゲットにした戦略的な移住施策のために不可欠であり、地域住民組織と協働し体制を整えるとともに、移住支援拠点を整備し、特に都市部の若い子育て世帯をターゲットとした戦略的なPRを展開する。また移住先の検討の中で障壁となっている、公共交通や医療体制の利便性を向上させるため、DX化を推進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 子育てや地域コミュニティ、交通、医療の課題などに対処し、生活環境の改善を図る。移住希望者のニーズに寄り添った移住支援、また住居課題などへの対応としての空き家流動化など、複合的な移住・定住課題へ取り組むことで選ばれる地方を実現する						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・移住支援整事業：オーダーメイド型での移住ツアー、移住支援拠点の管理運営費（委託料）20,800千円 ・移住者の生活環境改善事業：ライドシェアを取り入れたデマンド交通のリ・デザイン（委託料）8,000千円 ○拠点整備事業 ・奈義町移住サテライトベースを整備（工事請負費）350,000千円						
主なKPI	①転入者（+30人） ②移住ツアーを経て移住につながった人数（+22人） ③合計特殊出生率（+0.42ポイント） ④空家バンク登録物件数（+40件） ⑤町民まんぞく量（交通）（+2.6ポイント） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.nagi.okayama.jp/gyousei/chousei/gyouzaisei/tihouseusei.html

事業概要：ローカルからグローバルへ-国際芸術祭と連携した地域固有の文化・芸術高付加価値化事業-

継続

申請者	岡山県奈義町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,588,094千円 (1,375,766千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	地域固有の文化資本が観光資源として集積・高付加価値化され、観光消費の増加、UIターンの促進、シビックプライドの形成、多様性への理解など多面的な効果を発揮し、その好循環により「若者・女性にも選ばれる地方」の町として、町の持続的な発展を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光の視点に立ちながら、国内だけではなく、国外へも通用する地域の固有性を持った文化資本を集積する。また、それらの効果が発現する契機として、2027年度に開催予定の国際芸術祭「森の芸術祭 晴れの国・岡山」と広域連携しながらも独自の取り組みを展開する。併せて、インバウンド対策も含めた受け入れ態勢の整備や観光人材育成を行う。					<pre>graph TD; A[観光消費額の増加] --> B[UIターン促進]; A --> C[多様性への理解]; A --> D[シビックプライドの形成]; A --> E[伝統芸能の担い手確保]; A --> F[転出者の減少]; A --> G[美術館来館者数の増加]; A --> H[文化観光資本の集積・高付加価値化]; B --> H; C --> H; D --> H; E --> H; F --> H; G --> H;</pre>	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・観光資源としての文化資本整備事業：映画の効果最大化、滞在型での作品制作プログラム（委託料）11,500千円 ・国際芸術祭と連携した観光産業創出事業：観光受け入れ態勢整備、二次交通の強化、芸術祭プレイベントの実施（委託料）60,536千円 ○拠点整備事業 ・アートの森整備事業：アートを中心としたエリア整備（工事請負費等）1,201,000千円						
主なKPI	①観光消費額（+1億7,500万円） ②奈義町現代美術館の年間来場者数（+33,000人） ③横仙歌舞伎・歌舞伎音座の担い手数（+9人） ④転出者数の減少（▲50人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.nagi.okayama.jp/gyousei/chousei/gyouzaisei/tihousei.html

事業概要：MOUNTAIN TRACK OGAYA(マウンテントラック おおがや)

継続

申請者	岡山県西栗倉村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	978,034千円 (249,905千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	地域ビジョン「百年の森林構想」に則った来村目的となる観光エリア拠点として老朽化・降雪不足により閉鎖した旧スキー場およびキャンプ場施設を再整備し、観光交流人口、観光消費を増加させ、地域の観光産業の活性化を図る。 リピートでの来訪やローカルベンチャーの交流による観光交流人口からの関係人口化を促進させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・百年の森林構想という地域ビジョンに則った本村への来村・滞在目的となる観光エリア拠点として、旧スキー場跡地を利用し、スケートトラック場・サウナ施設・宿泊施設・キャンプ場施設など多様なアクティビティを備えた観光拠点を整備し、観光交流人口、観光消費を増加させ、地域の観光観光産業の活性化を図るとともに、リピートの来村やローカルベンチャーの交流による観光交流人口からの関係人口化を促進させる。 ・施設整備に係る詳細設計を実施し、設計完了後一部施設について整備着手する。 ・施設運営にかかるアプリケーション開発を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】						
	・実施設計 79,900千円 ・設計施工監理 3,971千円 ・建築物本体工事 25,812千円 ・建築物と不可分な設備工事 17,814千円 ・駐車場造成工事 44,374千円 ・デジタルプラットフォーム開発 78,034千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①主要観光施設の売上額(+75,700千円/年) ②整備施設の利用者数(+24,800人/年) ③整備施設での事業者連携事業数(+50件/年)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年10月公表予定

事業概要：百年の森林(もり)観光・産業創出事業

新規

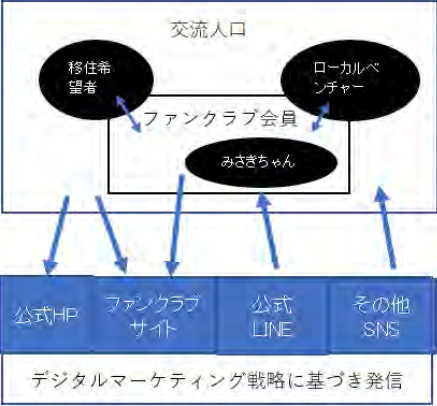
申請者	岡山県西栗倉村						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	767,840千円 (217,730千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・「百年の森林構想」を機軸とする統一的なブランディング、DMO等の推進体制構築、デジタルマーケティング基盤の導入及び滞在型コンテンツの開発を推進し、観光の産業化に向けた基盤を整える。 ・観光を起点として地域の自然資本の価値を最大化させ、地域への深い関与や再投資を生み出す「関係人口循環モデル」を確立することで、持続可能な自立的地域経営を実現する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「百年の森林構想」を掲げる本村において、森林や農業などの豊かな自然資本を観光資源として再定義し、地域経済の新たな柱として確立することを目指す。これまでの事業者各自による取組から、村全体を統括する観光推進組織（DMO等）を設立し、村として面的に魅せる統一的なブランド戦略の策定やデジタル基盤を活用したデータ駆動型のマーケティングを推進する。これにより、来訪者に対し単なる観光にとどまらない「体験・学び・関与」の価値を提供し、継続的な関係人口の創出と地域への再投資を生み出す自立的地域経済循環を構築する。						 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・百年の森林 観光・産業創出事業（委託料） 217,730千円 村全体の観光を牽引する観光推進組織の設立 観光ブランド戦略およびコンテンツ開発方針の策定 デジタルマーケティング等に係る支援							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①関係人口創出数（+350人） ②観光宿泊者数（+2,500人） ③観光関連事業者売上増加額（+95,000千円）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年10月公表予定

繼續

申請者	岡山県美咲町					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	53,685千円 (10,118千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・町内全域の空き家に関する情報のデータベース化によるデジタル化への推進を図る ・空き家問題全般の総合相談窓口となる中間支援組織の設立により、空き家に関する課題解決を図る ・住民向け、移住者向けの統合型デジタルツール開発により、情報発信力の強化と生活の利便性向上を図る ・地域・民間・NPOと連携し空き家バンク情報を共有し、流通促進と定住・移住の受け皿づくりを図る						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 空き家の実態・所有者意向を調査しGISと連動したデータベースを整備するとともに、移住・定住情報発信体制を刷新する。あわせて中間支援組織を設立し、地域・民間・NPO・まちづくり協議会と連携した空き家流通と持続可能な対策体制を構築する。 ----- 【R8年度事業 経費内訳】 ・空き家に関する相談対応、所有者に対するアプローチ、専門業者、専門家と連携する中間支援組織設立運営（委託料）8,618千円 空き家対策と移住・定住支援を統合し、町・中間支援組織・地域が一体的に運営する体制を整備する。 ・空き家の適正管理、利活用に向けた地域主体の取組への支援（補助金）1,500千円 地域・NPOと連携し空き家バンクの登録・流通を促進するとともに、関係組織と情報共有し、定住・移住促進と空き家対策の支援を実施。					美咲町空き家総合相談窓口（中間支援組織）イメージ図	
	①地域のUIターン数（世帯数）（+200件） ②空き家等情報バンク成約件数（移住世帯数）（+73件） ③危険家屋措置件数（+18件） ④単独・合同移住相談会開催数（+58回） ⑤子育て支援アプリ（LINE）登録者数（+2,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：デジタルマーケティングを活用した関係人口の創出・深化事業

旧制度（推進）

申請者	岡山県美咲町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	9,960千円（2,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ
目的・効果	・デジタル媒体での効果的な情報発信を行うため、官民一体となりデジタルマーケティング戦略を構築する。 ・戦略策定後は、既存施策も含め戦略に基づき効果的な情報発信を行い、交流人口、関係人口を創出する。 ・町外在住者へ美咲町の魅力をPRするファンクラブサイトを創設し、情報を集約するとともに統一的に発信する。 ・ファンクラブの運営により、関係人口の深化を促進し、移住希望者の増加、地域課題の解決等を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 既存事業と連携し、官民一体でデジタルマーケティング戦略を構築。SNSやHPを再整理し、美咲町ファンクラブを創設、「みさきちゃんプロジェクト」や会員向け施策により来訪を促進し、関係人口の創出・深化を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・既存データの分析、マーケティング戦略見直し支援（委託料）1,000千円 デジタルマーケティング戦略の実施状況の分析、見直しを行う際の専門的な助言を受ける。 ・ファンクラブ運営に係る美咲町公式ライン連携・イベント企画（委託料）1,000千円 ファンクラブの充実・強化を図るとともに、ファンクラブ会員向け、みさきちゃん向けイベントを企画し、関係人口の創出・深化を促進する。		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域へのUIターン数（+90人） ②公式インスタグラムフォロワー数（+2,130件） ③ファンクラブ会員数（+2,500人） ④ファンクラブ開設後のアクセス数（+5,000回／月）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	令和8年9月公表予定